

新京成電鉄会社要覧

2018



SHINKEISEI HAND BOOK

2018

新京成電鉄株式会社

2018年 8月発行 / 編集・発行: 総務人事部 広報課  
〒273-0192 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号  
TEL 047-389-1110 FAX 047-389-1130  
www.shinkeisei.co.jp

# CONTENTS

---

トップメッセージ…………… 1

中期経営計画…………… 2

## chapter1 会社概要

会社概況…………… 5

新京成ブランド…………… 5

役員…………… 6

業務組織図…………… 7

従業員構成…………… 8

資本金の推移…………… 8

行動規準…………… 9

コーポレート・ガバナンスに関する

基本的な考え方…………… 10

株式の状況…………… 11

情報セキュリティの推進…………… 12

収入と支出（単体）…………… 13

会社業績（連結）…………… 14

人材育成…………… 16

新京成の取り組み・コミュニケーション…………… 17

新京成の取り組み・イベント…………… 18

新京成の取り組み・CS…………… 19

新京成の取り組み・事業継続計画（BCP）…………… 20

新京成の取り組み・ロケーションサービス…………… 20

## chapter2 鉄道事業

路線図…………… 22

2017年度鉄道事業の概況…………… 23

所要時分表…………… 25

営業キロ程および運賃表…………… 26

旅客運賃表…………… 27

出改札システム…………… 27

お客さまサービス・駅施設…………… 30

お客さまサービス・車両…………… 34

安全対策…………… 35

車両基地…………… 46

車両…………… 48

車両の概要…………… 49

在籍車両一覧表…………… 50

線路の強化と保守…………… 51

連続立体交差事業…………… 52

鉄道電力…………… 54

電力設備と保守…………… 55

鉄道事業資料…………… 56

## chapter3 不動産事業

不動産販売事業…………… 63

不動産賃貸事業…………… 63

## chapter4 新京成グループ

バス事業…………… 70

・バス路線図…………… 78

コンビニ業…………… 81

駐輪場管理業…………… 82

駐車場管理業…………… 83

ビル管理業…………… 84

広告業…………… 85

## chapter5 資料

年表…………… 86

新京成沿線マップ…………… 96

### 安全・安心を最優先に 沿線地域の持続的な発展を

代表取締役社長 眞下 幸人



当社は1946年に創立して以来、鉄道・バスの運輸業と不動産業を中心に千葉県北西部で事業を展開しており、2016年10月に創立70周年、2017年12月に鉄道開業70周年を迎えました。

新京成グループでは、2010年度～2021年度の12年間にわたる長期経営計画の目標「ニーズを先取りしたサービス展開により、住んでいたい・住んでみたい魅力的な沿線づくりをおこなう。」「安全・安心・快適を旨とした事業運営を通じ、お客様や社会からより信頼される企業となることを目指す。」の達成に向けて、3年間ごと4段階に分けて中期経営計画を作成し取り組んでおります。

第1ステップであるS1計画（2010年度～2012年度）中は「将来を見据えた基礎固め」、第2ステップであるS2計画（2013年度～2015年度）中は「経営基盤の強化策の具現化」をテーマに、「安全・安心・快適なサービスの提供」「沿線価値の向上」「社会的課題への取り組み」などの5つの長期経営戦略に基づき「経営基盤の強化」に取り組んでまいりました。

現在進めている長期経営計画の第3ステップとなるS3計画（2016年度～2018年度）期間中は、「沿線価値向上・事業運営体制確立」の期間と位置づけており、引き続き、鉄道部門では安全・安心の強化につながる施策を推進し、不動産部門では収益基盤強化に資する新規物件の開発を推進するとともに、沿線地域と企業のブランド力向上につながる施策も継続して実施しております。

今後も新京成グループでは安全・安心を最優先に、沿線地域の持続的な発展につながる事業を展開することで、皆さまから愛される企業を目指して努力してまいりますので、引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 中期経営計画 (S3 計画 / 2016 年度～2018 年度)

当社グループでは、「沿線価値向上・事業運営体制確立」をテーマとした中期経営計画 (S3 計画 / 2016 年度～2018 年度) を策定しています。以下の基本方針及び基本戦略をもとに各施策を着実に実行し、沿線地域と企業のブランド力向上を目指しています。

## 基本方針

- ① 安全管理体制の再構築
- ② 鉄道輸送需要の創出および不動産の新たな収益源確保
- ③ 業務効率化施策の実施

## 基本戦略

### 安全・安心の強化

近年、輸送の安全に対する社会的要請がより一層強まっていることから、安全性・信頼性の更なる向上に向けた施策を推進し、安全輸送の完遂を目指す。

### 収益源確保への取り組み

将来予測されている生産年齢人口減に対し、沿線人口増加のための積極的な旅客誘致施策を実施し、新たな輸送需要の創出を図るとともに、不動産業においても新たな収益源となる物件を開発することで、経営基盤の強化を図る。

### 成長できる業務体質への転換

安全・安心の強化のための設備投資増加による費用増に対し、経費削減につながる効率化施策を実施していく。

### 地域と会社のブランド力向上

沿線エリアの情報や魅力を様々な媒体で発信することにより、当社の知名度アップを図るとともに、サービスの向上も併せて実施していくことでブランドイメージを向上させ、住んでいたい・住んでみたい魅力的な沿線づくりを行う。

## セグメント別重点施策

### 運輸業

- 運輸安全マネジメント制度に沿った諸施策の推進
- 連続立体交差事業（鎌ヶ谷大仏駅～くぬぎ山駅間）の早期完成
- 信号保安設備の保安度向上（ATS装置の更新）
- 自然災害への対応（駅耐震補強の推進）
- バリアフリー化設備等整備事業の更なる推進
- 持続的な利益確保に向けた増収施策および効率化施策の実施
- お客様のニーズに応えるためのサービスの提供
- バス事業における既存路線の見直しや新規路線展開による収益力の強化

### 不動産業

- 新規賃貸物件の開発による収益源の確保
- 新津田沼地区開発計画の策定
- 保有資産の有効活用の検討（連立高架下等）
- 自社保有資産売却（八千代市吉橋土地）

### その他の事業

- コンビニ業における収益性の強化と店舗の拡充

## 数値計画（2018年度到達目標）

### 数値目標

	2017年度実績	2018年度計画	2018年度目標
営業収益	218.2 億円	213.7 億円	209 億円以上
営業利益	34.8 億円	34.5 億円	33 億円以上
営業利益率	15.9 %	16.2 %	16.0 % 以上
親会社株主に帰属する当期純利益	26.9 億円	25.9 億円	25 億円以上

### セグメント別数値目標（営業利益）

	2017年度実績	2018年度計画	2018年度目標
運輸業	16.8 億円	16.5 億円	16 億円以上
不動産業	16.7 億円	16.9 億円	16 億円以上
その他	0.9 億円	0.8 億円	0.7 億円以上

### 投資計画

計画数値（S3計画3ヶ年）		
合計	111.8 億円	うち安全にかかわる投資の割合：80.5%

chapter 1

# 目 会社概要



## 社 訓

1

地域社会への奉仕

2

安全輸送完遂のための  
無事故

3

愛社精神を中心とする  
総親和

## 会社概況

社名	新京成電鉄株式会社
英訳名	Shin-Keisei Electric Railway Co.,Ltd.
設立	1946年10月23日
本社	〒273-0192 千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号
電話	047-389-1111（代表）
資本金	59億3,594万378円
代表者	代表取締役社長 眞下 幸人
事業内容	鉄道による一般運輸業・土地建物の売買、仲介及び賃貸事業
営業キロ	26.5km
車両数	156両（2018年3月31日現在）
駅数	24駅
従業員数	462人（2018年3月31日現在）
グループ会社	7社





## 新京成ブランド

### シンボルマーク・コーポレートカラー

シンボルマーク「マーク名:Step Mark（ステップマーク）」は、カーブの多い路線の特徴から着想し、新京成のイニシャル「S」をデザインしました。ライン状につながり、右上に上がっていく形が、一步一步ステップし続ける姿勢を表しています。

コーポレートカラーは、メインカラーはシンボルマークの形や印象に合うよう、親しみやすくやさしく温かいイメージの「ジェントルピンク」、サブカラーは「ニューマルーン」としました。



-  gentle pink（ジェントルピンク）
-  new maroon（ニューマルーン）

**ブランドスローガン** まいにち、ちょっと、新しい。

### ブランドステートメント

ふつうの日々を過ごす、しあわせ。  
ふつうの日々の中に、「ちょっと、新しい」がある、しあわせ。  
そんなお客さまの気持ちに寄り添い、ニーズと向き合い、ひとつひとつを形にしていくこと。  
それが、私たちにできる、お客さまサービスです。

基本は、あくまでも日々の安全と安心の提供。  
そこに「ちょっと、新しい」を加えていくことで、より便利で快適な空間と時間が提供できる。  
毎日ちょっとずつでも、季節を超え、歳月を重ねていけば、もっと大きな「新」になる。  
それが、私たちの信念です。

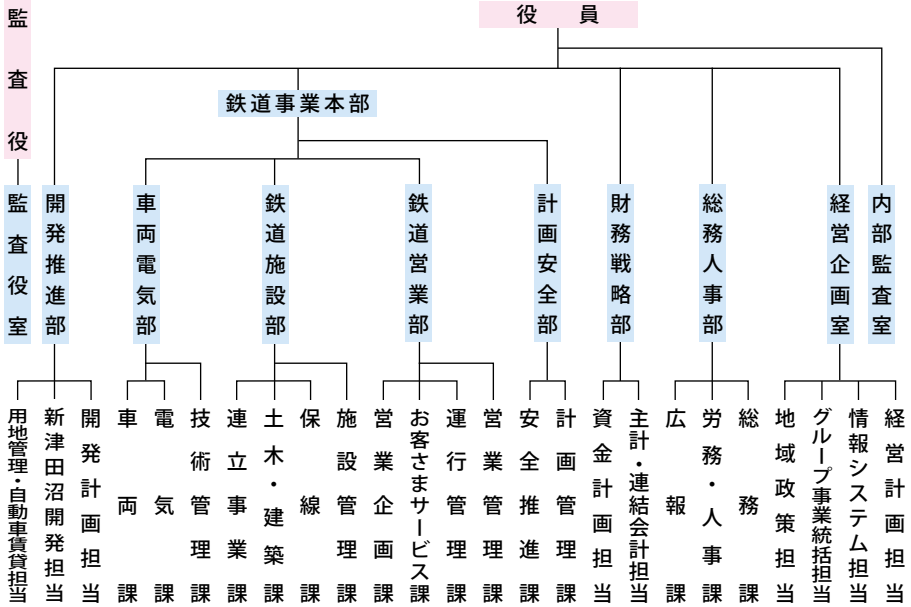
しっかり前を向き、一步一步を大切に、走り続けるための合言葉。  
お客さまの「まいにち、ちょっと、新しい。」くらしを、  
私たちの「まいにち、ちょっと、新しい。」はたらきで彩っていく。  
それが、私たちからの約束です。

代表取締役社長	ましも 眞下	ゆきひと 幸人
常務取締役（鉄道事業本部長）	たくち 田口	かずみ 和己
常務取締役（財務戦略部長・開発推進担当）	ながみ 長見	しんじ 真治
取締役（内部監査室長・総務人事担当）	よしかわ 吉川	くにひこ 邦彦
取締役（経営企画室長・鉄道事業本部車両電気部付部長）	かわい 河合	よしかず 義一
取締役（鉄道事業本部鉄道施設部長）	ただ 多田	そういち 聡一
取締役（鉄道事業本部車両電気部長）	あいはら 相原	さかえ 栄
取締役（社外）	はなだ 花田	つとむ 力
取締役（社外）	さいぐさ 三枝	のりお 紀生
取締役（社外）	なかとがわけんいち 中戸川健一	
取締役（社外）	のむら 野村	とおる 徹
常勤監査役	やなぎだ 柳田	のぶお 信夫
常勤監査役（社外）	やまかど 山門	こういち 浩一
監査役（社外）	かとう 加藤	まさや 雅哉
監査役	かねこ 金子	ひかる 光

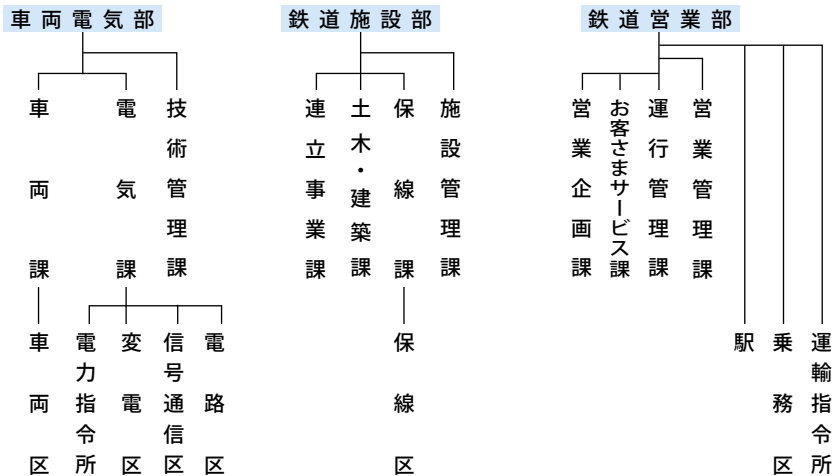


# 業務組織図

## 本課



## 現業



## 従業員構成

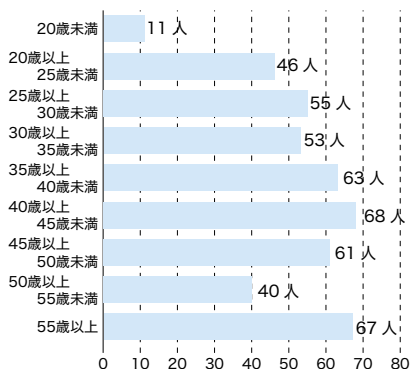
### 従業員概要

2018年3月31日現在

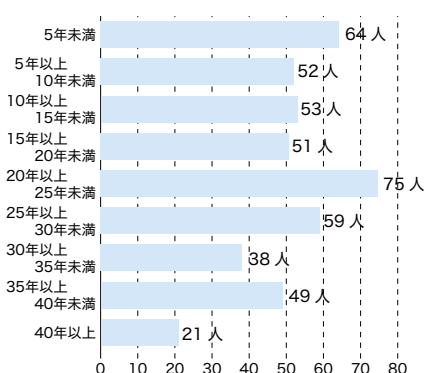
従業員数			
鉄道事業	不動産事業	一般管理	計
411人	10人	41人	462人

(注) 嘱託、出向、組合専従を除いています。

### 年齢別構成



### 勤続年数別構成



### 従業員の推移

2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
488人	480人	471人	462人	460人	460人	465人	462人	464人	462人

### 資本金の推移

1946年10月	1,000万円	1982年6月	10億円
1948年10月	2,000万円	1984年5月	10億3,000万円
1953年5月	6,000万円	1985年5月	14億8,000万円
1955年7月	1億2,000万円	1987年5月	31億2,200万円
1972年4月	2億4,000万円	1990年5月	59億2,017万円
1974年3月	5億円	1990年12月	59億3,594万円
1977年4月	7億5,000万円		

# 行動規準

## 行動規準

(2016年1月1日改定)

私たちは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと社会の発展に貢献する企業を目指し、社会規範の遵守並びに企業の社会的責任を遂行するため、以下の行動規準により、適法かつ適正な事業活動を行います。

### 1. 社会との関係

- (1) 地域、社会への貢献  
私たちは、事業活動等を通じて地域及び社会の一員として社会貢献活動に努めます。
- (2) 反社会的勢力との関係断絶  
私たちは、反社会的勢力には毅然として対応し、これらの勢力の活動を助長するような行為は行いません。
- (3) 環境保全・保護  
私たちは、環境保全・保護の重要性を認識して、環境への負荷低減に配慮し、自然との調和に努めます。
- (4) 寄付行為・政治献金  
私たちは、違法な寄付行為や政治献金を行いません。

### 2. お客様との関係

- (1) 安全性の優先  
私たちは、お客様へ良質な商品・サービスを提供し、その安全を何よりも優先します。
- (2) お客様の立場に立った行動  
私たちは、お客様のご意見に耳を傾け、迅速かつ誠実に対応し、業務改善やサービスの向上に努めます。
- (3) お客様情報の厳正な取扱  
私たちは、お客様の個人情報については業務目的及び法令等に定める用途のみに利用し、その他の用途には使用しません。

### 3. 株主・投資家との関係

- (1) 経営情報の開示  
私たちは、当社の正しい評価を得るため、株主、投資家等に対して当社の経営情報を適時かつ適正に開示します。
- (2) インサイダー取引の禁止  
私たちは、業務上知り得た当社やグループ会社又は取引先の内部情報を利用し、疑惑を招く株式等の売買を行いません。

### 4. 取引先等との関係

- (1) 公正・公平な商取引  
私たちは、法令及び社内規則等を遵守し、最適切かつ公正・公平な取引を行います。
- (2) 過剰な接待・贈答の禁止  
私たちは、過剰な接待・贈答は行わず、受けません。

### 5. 人権の尊重、良好な職場環境の確保

- (1) 人権尊重と差別の禁止  
私たちは、一人ひとりの人権を尊重し、差別的言動等の人権侵害行為は行いません。
- (2) ハラスメント行為等の禁止  
私たちは、セクシャルハラスメントやパワーハラスメント等、相手に不快感や不利益を与える行為、及び個人の尊厳を傷つける行為は行いません。
- (3) プライバシーの保護  
私たちは、業務上知り得た個人情報については業務目的及び法令等に定める用途のみ利用し、その他の用途には使用しません。
- (4) 安全・健康の確保  
私たちは、安全で衛生的な職場環境の整備に努めます。
- (5) 良好な職場環境の形成  
私たちは、一人ひとりが働きがいを実感でき、風通しが良く活気に満ちた職場を作ります。

### 6. 会社財産等の保全

- (1) 利益相反行為の禁止  
私たちは、自己や第三者の利益のために、会社の利益に反する行為は行いません。
- (2) 重要情報の管理  
私たちは、当社又は他社の重要情報(業務上知り得たマイナンバー及び個人情報等)については外部に漏洩がないよう厳重に管理します。
- (3) 会社資産の適切な使用  
私たちは、資産(知的財産権を含む)の毀損、盗難、不正使用を防ぐとともに、個人的な目的で会社の資産、経費を使用しません。
- (4) 社内情報システムの管理  
私たちは、情報システムの使用に際し、社内規則等に基づく適正な運営、管理を行います。

以上

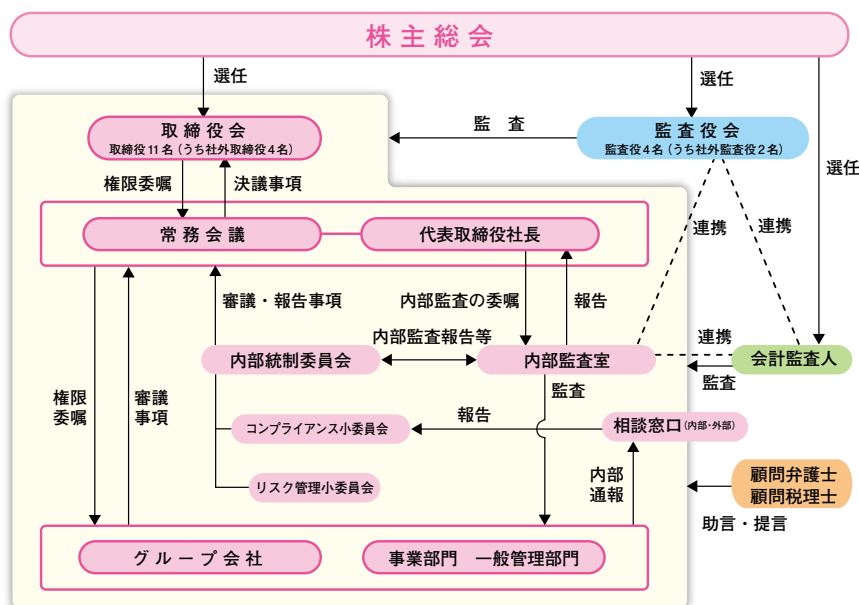
## コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

京成電鉄グループの一翼を担う当社グループは、鉄道事業・バス事業の運輸業を中心に、賃貸ビルを主体とした不動産事業等を営み、これらの事業を通じて地域社会の発展に貢献することを目指すとともに、当社グループが保有する経営資源を最大限に活用し、経営基盤の一層の強化を図りグループ全体の収益、利益の拡大に取り組んでいます。

「経営基盤の一層の強化」のためには、コーポレート・ガバナンスの充実が不可欠であり、これにより法令および定款に適合させることができると考えています。

基本的な考え方は以下のとおりです。

- ① 法令遵守を含めた行動規準の整備および周知
- ② 取締役と監査役の役割分担を確保した監査役設置会社形態の充実
- ③ 取締役会、常務会議等の取締役の職務執行上重要な意思決定手続きの明確化
- ④ 社内規程および職務権限規則による責任部署および手続きの明確化
- ⑤ 内部監査室による内部チェック体制の充実
- ⑥ 監査役による実効的な監査体制の確保



## 株式の状況

### (1) 株式数

発行可能株式総数	24,000,000 株
発行済株式総数	11,023,228 株

### (2) 株主数

3,285 名

### (3) 大株主（上位 10 名）

順位	株主名	持株数	持株比率
1	京成電鉄株式会社	4,284千株	39.03%
2	日本生命保険相互会社	304千株	2.77%
3	帝都自動車交通株式会社	200千株	1.82%
4	株式会社関鉄クリエイト	180千株	1.64%
5	三井住友信託銀行株式会社	133千株	1.22%
6	関東鉄道株式会社	133千株	1.21%
7	新京成電鉄従業員持株会	114千株	1.04%
8	三井住友海上火災保険株式会社	114千株	1.04%
9	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	113千株	1.04%
10	株式会社みずほ銀行	110千株	1.00%

(注) 1. 持株比率は自己株式（44,809 株）を控除して計算しております。

### 株主優待制度のご案内

毎年 3 月 31 日および 9 月 30 日の最終の株主名簿に記載された株主の皆さまに対して、そのご所有株式数に応じて次のとおり優待乗車証を発行しています。

ご所有株式数		優待乗車証の種別	枚数
100 株以上	200 株未満	電車全線乗車証（回数券式 1 枚 1 乗車有効）	2 枚
200 株以上	1,000 株未満	〃	5 枚
1,000 株以上	2,000 株未満	〃	15 枚
2,000 株以上	3,000 株未満	〃	30 枚
3,000 株以上	4,200 株未満	〃	45 枚
4,200 株以上	7,800 株未満	電車全線バス（定期券式持参人 1 名）	1 枚
7,800 株以上		電車・バス共通全線バス（定期券式持参人 1 名）*	1 枚

\* 電車・バス共通全線バスにつきましては船橋新京成バス、松戸新京成バスの各路線（高速バス、深夜急行バス、コミュニティバス等を除く）でご利用いただけます。なお、深夜バスにご乗車の際は割増分の運賃をお支払い願います。

2018 年 3 月 31 日現在

## 情報セキュリティの推進

当社では、お客さまやお取引先を含めた会社保有の情報資産を適切に取り扱い、保護管理に努めることが、社会の期待と信頼にこたえる企業としての責務であると考えています。

そのため当社では、事業を通して収集したすべての情報資産を経営に欠かせない重要な資産と位置付け、情報資産および情報システムの適切な管理と運用に努め、情報セキュリティの維持・向上を図るために、次に掲げる事項を情報セキュリティ基本方針として規定しています。

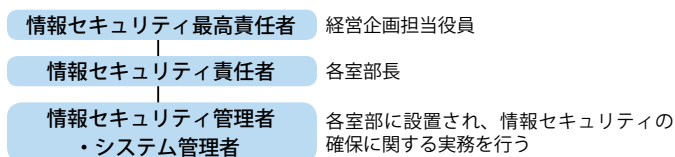
### 新京成電鉄情報セキュリティ基本方針

- 1 お客さまに対する安全かつ安定したサービスの提供
- 2 当社内外からの不正アクセス、盗難、改ざん、破壊、漏洩、及び紛失等からの情報資産の保護
- 3 社員等に対する継続的な情報セキュリティ教育・訓練の実施
- 4 本基本方針及びセキュリティ関連法規等に対する遵守状況の定期的な点検及び監査の実施
- 5 事業内容、社会的・技術的な変化、及び法令等の変化などを考慮した本方針の定期的な見直し・改善の実施

### 情報セキュリティ体制

情報セキュリティの確保に関する重要な事項について定期的に審議を行う機関として情報セキュリティ委員会が設置されています。当委員会は経営企画担当役員を長とし、各室部長を委員として構成され、経営企画室情報システム担当が事務局となっています。

当委員会以下、当社では次のような情報セキュリティ体制が構築されています。



### 主な取り組み内容

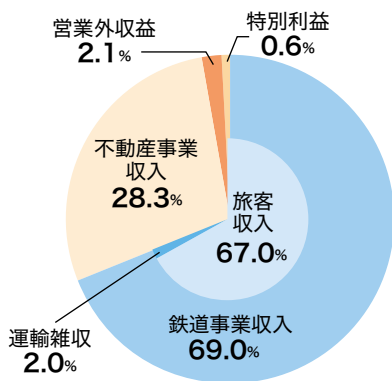
情報セキュリティ対策の実施に必要な具体的事項については、情報セキュリティ基本方針に基づき、別途情報セキュリティ対策基準や各種要領等が規定されており、これらについては必要に応じて常に内容の見直しが行われています。

これら規程類に基づき、先述の情報セキュリティ体制に従って全社的に情報セキュリティの維持・向上に取り組んでいます。

情報セキュリティ体制が機能するよう統括する部門として、経営企画室に情報システム担当が設置されており、全社的な情報ネットワークやセキュリティの案件を取り扱うほか、従業員向けの情報セキュリティ教育やシステム監査に関する業務なども行っています。

## 収入と支出(単体)

### 総収入に対する事業別営業収入の比率 (2017年度)

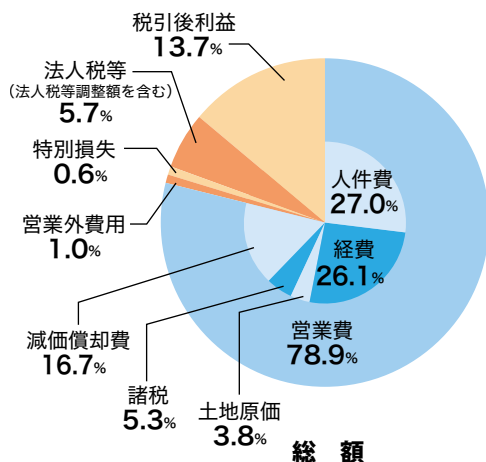


総収入  
**16,521** 百万円

### 収入内訳

営業収入	16,073 百万円
鉄道事業	11,404 百万円
旅客収入	11,071 百万円
運輸雑収	333 百万円
不動産事業	4,669 百万円
営業外収益	345 百万円
特別利益	102 百万円

### 総収入に対する経費比率 (2017年度)



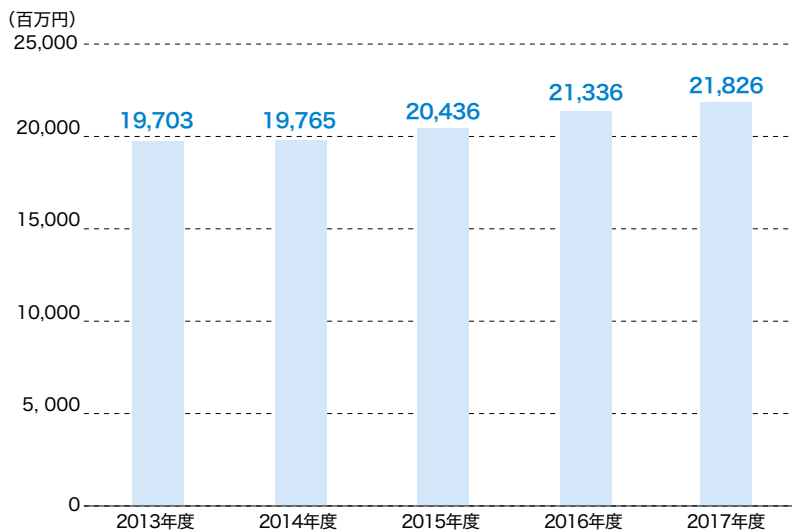
総額  
**16,521** 百万円

### 経費内訳

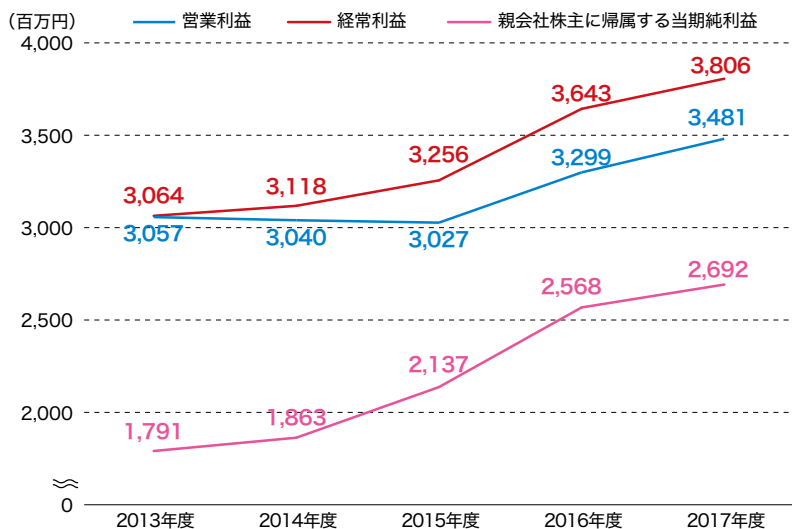
営業費	13,046 百万円
人件費	4,455 百万円
経費	4,318 百万円
土地原価	632 百万円
諸税	883 百万円
減価償却費	2,756 百万円
営業外費用	171 百万円
特別損失	102 百万円
法人税等 (法人税等調整額を含む)	943 百万円
税引後利益	2,258 百万円

## 会社業績(連結)

### 営業収益の推移



### 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の推移





## 連結貸借対照表 (2018年3月31日現在)

資産の部		負債純資産の部	
科目	金額 (千円)	科目	金額 (千円)
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
流動資産	11,276,662	流動負債	39,527,011
現金及び預金	7,335,189	買掛金	1,184,226
売掛金	1,284,533	短期借入金	2,985,320
リース投資資産	842,302	未払金	3,625,054
商品及び製品	28,766	未払法人税等	624,896
分譲土地建物	907,978	前受金	27,677,856
原材料及び貯蔵品	478,877	賞与引当金	481,230
繰延税金資産	216,056	その他	2,948,428
その他	182,957		
固定資産	81,122,602	固定負債	12,823,228
有形固定資産	70,742,245	長期借入金	6,286,890
建物及び構築物	21,683,227	繰延税金負債	973,522
機械装置及び運搬具	4,680,205	退職給付に係る負債	3,333,207
土地	10,855,110	その他	2,229,608
建設仮勘定	32,993,655	負債合計	52,350,240
その他	530,046		
無形固定資産	636,160	<b>純資産の部</b>	
その他	636,160	株主資本	35,989,688
投資その他の資産	9,744,196	資本金	5,935,940
投資有価証券	9,263,740	資本剰余金	4,774,519
繰延税金資産	152,560	利益剰余金	25,362,834
退職給付に係る資産	190,530	自己株式	△ 83,606
その他	137,365	その他の包括利益累計額	4,059,337
資産合計	92,399,265	その他有価証券評価差額金	4,311,410
		退職給付に係る調整累計額	△ 252,073
		純資産合計	40,049,025
		負債純資産合計	92,399,265

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結損益計算書の要旨 (2017年4月1日～2018年3月31日)

科目	金額 (千円)
営業収益	21,826,461
営業費	18,345,256
営業利益	3,481,204
営業外収益	467,215
営業外費用	141,952
経常利益	3,806,467
特別利益	102,366
特別損失	102,099
税金等調整前当期純利益	3,806,734
法人税、住民税及び事業税	1,110,507
法人税等調整額	3,659
当期純利益	2,692,568
親会社株主に帰属する当期純利益	2,692,568

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

## 連結キャッシュフロー計算書 (2017年4月1日～2018年3月31日)

科目	金額 (千円)
営業活動によるキャッシュフロー	6,630,660
投資活動によるキャッシュフロー	△ 4,355,443
財務活動によるキャッシュフロー	△ 902,365
現金及び現金同等物の増減額	1,372,852
現金及び現金同等物の期首残高	5,962,337
現金及び現金同等物の期末残高	7,335,189

## 人材育成

### 2018 年度社員教育計画について

2018 年度の社員教育計画については、会社組織の根幹をなす「人材」の育成に努めることを主な目的とします。階層別の研修については、管理者層、監督者層、中堅社員層、新入社員に分けて実施します。

また、研修フォロー体制については、実施された研修が確実な業務成果に結びつくよう、研修後に自己の課題を設定し、設定された課題については、後日、実行度合いを確認することとしています。

### 2018 年度 社員教育体系図

階 層			階 層 別 研 修		
職群	本社職名	現業職名	本 社 部 門		現業部門（除：乗務員）
管 理 職	部長		部長研修		
	課長		課長研修 新任課長研修	評価研修	
	課長補佐		課長補佐研修 新任課長補佐研修	評価研修	現業長研修
7-2 主任 B	現業長	管理候補者研修			
7-1 主任 A	助役 A			職場リーダー研修 (B)	
6 主任	助役	職場リーダー研修 (A) 入社 15 年目～			評価研修
5	事務員 B 技術員 B	駅務主任 B 班長			
4	事務員 A 技術員 A	駅務主任 A 運転士 副班長	中堅社員研修 入社 5 年目～		
3	事務員 技術員	駅務主任 車掌 技術掛	新入社員 フォローアップ研修 1 年目 2 年目 3 年目		後輩指導研修 入社 7 年目～
2		駅務掛 掛：技術職場			
新入社員	新入社員	新入社員	新入社員研修		

※ 階層別研修の他に、各部門で行う専門研修等があります。

## 新京成の取り組み・コミュニケーション

### おでかけ情報誌「CiaO（チャオ）」

沿線および周辺地域の魅力を紹介する CiaO は、お客さまとの気軽なふれあいを目的として 1992 年に創刊しました。以降、2002 年に年 4 回から年 6 回に増刊、2009 年に当社ホームページへ掲載開始、2014 年に各 40,000 部から各 45,000 部へ増刷しました。沿線外を含む幅広い層へ当社の情報をお届けするため、手に取りやすい、見やすい、目新しい情報の掲載を目指し、当社ブランドのさらなる強化を図っています。



### 新京成電鉄ホームページ（[www.shinkeisei.co.jp](http://www.shinkeisei.co.jp)）

ホームページでは、当社の情報をよりスピーディーに、より広範囲のお客さまに提供することを目的として、1999 年に開設、2015 年にリニューアルしました。鉄道運行情報や時刻表をはじめ、ハイキングなどのイベントや新京成グループ各社の情報も掲載しています。また、2015 年からは英語版ページも開設し、インバウンドビジネスが流行している時代に合わせた運用も始めています。



### 沿線情報ブログ CiaO \* CiaO（チャオ \* チャオ）（[www.ciao2.jp](http://www.ciao2.jp)）

当社ホームページのコーナー CiaO \* CiaO は、沿線の素敵な飲食店や隠れた雑貨店などのお出かけスポットをブログ調で紹介しています。電車やバスを利用してお出かけしていただくことを目的とし、2009 年に開設、2015 年にリニューアルしました。

また、2017 年には、訪日外国人の方へ向けた 5 言語のブログ「Oide Shin-kei-sei」を開設しました。定番の観光地でないことを逆に展開しています。



### 新京成公式 Twitter

新京成の情報に関してニュースリリースやホームページだけでなく、軽微なお知らせをはじめ、沿線のちょっとした小ネタなど、お客さまにさまざまな情報をお届けするため、2017 年 12 月 18 日より新京成公式 Twitter を運用しています。

現在フォロワー数は 2,000 人を突破しました。



## 新京成の取り組み・イベント

### 春

〈催し物〉

- 聖徳大学スプリングコンサート ● 新京成カップ（少年サッカー大会）
- 自衛隊桜並木ライトアップ ● 新京成お笑い寄席
- グルメスタンプラリー（カレー、パスタなど）
- ハイキング（3月～6月ごろに2～3回程度実施）

〈沿線観光・イベント列車他〉

- マリーナズ号運行（春～夏）



### 夏

〈催し物〉

- 新京成音楽フェスティバル ● 夏休みスタンプラリー

〈沿線観光・イベント列車他〉

- もも狩り（6月～8月中旬）
- ブルーベリー狩り（6月～9月初旬）
- ぶどう狩り・なし狩り（8月～10月） ● ふなっしートレイン（2017年7月～2018年1月）



### 秋

〈催し物〉

- ラーメンスタンプラリー
- 新京成サンクスフェスタ

〈沿線観光・イベント列車他〉

- ジェットトレイン運行（秋～冬）



### 冬

〈催し物〉

- 聖徳大学クリスマスチャリティコンサート
- ハイキング（11月～1月ごろに2回程度実施）
- マリーナズトークショー

〈沿線観光・イベント列車他〉

- いちご狩り（1～5月）



※実施するイベントは年により異なります。

## 新京成の取り組み・CS

グループすべての従業員がすべての職種において、より快適にご利用いただけるサービスをお客さまに提供することを目的にCSの向上に取り組んでいます。これは、京成グループで取り組むBMK推進運動とも合致することから、積極的に多様な活動に参加・実施することでレベルアップを図っています。また、当社に届くお客さまからのご要望についても貴重なご意見として、可能な範囲で対応し、改善を図っています。

### BMK（ベストマナー向上）推進運動の実施

BMK推進運動は、お客さまから常に信頼され、選ばれる企業グループとなることを目指し、京成グループ一丸となって取り組んでいる接客サービスを中心とするCS活動です。各職場が自分の部署



駅係員がおもてなし英語研修を受講



電路区による清掃活動

では何ができるのかを考えて実行計画を立て、接客の最前線から技術部門の線路上の清掃活動に至るまで、さまざまな取り組みを実施しています。

### お客さまの声をいただいて改善しました

〈お客さまの声〉「新京成で、新京成線から都営地下鉄線までの連絡定期券が1枚で購入できる範囲を拡大してほしいです。」

対応しました

(発売できるようになった区間例)

新京成では最大3社の鉄道会社を跨ぐ連絡定期券が1枚で発売でき、4社の鉄道会社を跨ぐ連絡定期券は1枚での発売ができませんでした。新京成線から都営地下鉄線までご利用されるお客さまの声を多くいただき、発売範囲の拡大を実施。関係する鉄道会社と定期券発売区間の検討および駅務機器の改修等を行い、2018年3月17日から、都営地下鉄線までの4社の鉄道会社を跨ぐ連絡定期券が1枚で購入できるようになりました。

お客さまに周知するために「定期券発売範囲拡大のお知らせ」ポスターを制作し、車内や駅構内に掲載しました。



## 新京成の取り組み・事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)

災害等が発生して当社が甚大な被害を被った場合に、お客さまおよび従業員等の安全を最大限に重視しながら事業の継続、早期復旧に取り組むことを目的に事業継続計画(BCP)を策定しています。

当社では、万が一停電していても対策本部等の本社機能の一部が3日間維持できる給電システムを構築し、2015年3月より運用しています。電力はソーラーパネルと蓄電池で供給し、不足分は2台の電気自動車で補います。防災用品もグループ会社を含め約1,000人が3日間持ちこたえられるように備蓄しています。



ソーラーパネル

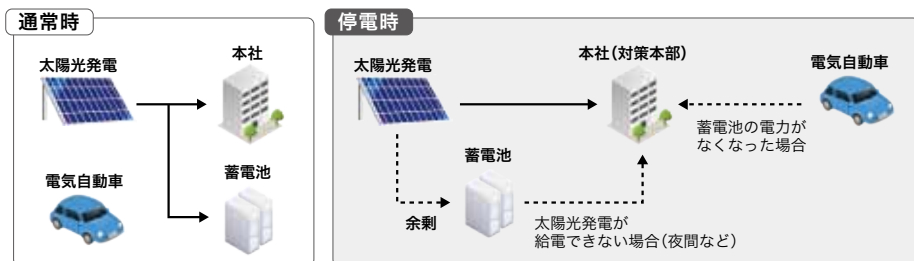


電気自動車



防災倉庫

### 給電システムの概要



## 新京成の取り組み・ロケーションサービス

映像制作会社に、鉄道施設という特殊なロケーションをより効果的に利用いただくためのサービスを有料で提供しています。CMやMV等の撮影に当社施設を貸し出すことで、収益のみならず、当社の知名度アップやブランド価値の向上を目的としています。料金表や規約などを定めたことで対応できる範囲や条件が明確になり、よりスムーズに、そしてより安全に対応できる体制を整えています。



## 🚄 鉄道事業



当社は、千葉県北西部一帯の開発に供する目的で、国から戦前の旧陸軍鉄道連隊演習線跡地の払下げを受け、資本金 1,000 万円の会社として発足、1947 年 12 月新津田沼～薬園台間 2.5 キロの鉄道営業を開始し、1955 年 4 月に松戸～京成津田沼間が全線開通しました。

当初は京成電鉄からの譲受け車両で営業していましたが、1971 年以降は自社のオリジナル車両を導入しました。また、1986 年には当時の最新鋭技術を結集した初の VVVF インバータ搭載の 8800 形を導入し、大幅な省力、省電力を図りました。併せて、軌道や電車線設備など地上設備も、コンクリート枕木化、重軌条化、重架線化、変電所の更新、電力指令業務の自動化などを進めてインフラの信頼性を高め、1996 年には現在の最高速度 85km/h にスピードアップを図りました。

さらに 2006 年には京成電鉄千葉線への乗り入れを開始し、松戸～千葉中央間の直通運転を実現しました。





## 2017年度鉄道事業の概況

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、デジタルATS工事をすすめ、初富駅～くぬぎ山駅間下り線およびくぬぎ山駅～八柱駅間で使用を開始したほか、五香駅の駅舎耐震補強工事をすすめました。このほか車両基地への信号保安設備導入工事、前原駅～葉園台駅間の擁壁補強工事などを実施いたしました。

諸施設のバリアフリー化につきましては、八柱駅北口にエレベーターを、二和向台駅およびくぬぎ山駅に内方線を設置いたしました。併せて二和向台駅のホーム嵩上げ工事を実施いたしました。

お客さまサービス向上策として、駅トイレの洋式化工事や駅照明のLED化工事、自動券売機の一部更新などを実施いたしました。

環境負荷の低減に向けた取り組みとして、前年度に引き続き8800形車両1編成でブレーキ時の回生電力量を大幅に向上させ、より省エネルギー効果を

高めるためにVVVFインバータ装置の更新を実施いたしました。この編成では、車両リニューアル工事を同時に実施し、車内照明をLED化したほか、内装をコーポレートカラーを基調としたものに変更し、イメージアップを図りました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差化工事につきましては、2017年10月21日に下り線の高架切替えを実施し運行を開始いたしました。上り線につきましては、2019年度中の高架切替えを目指して工事を進めております。

営業面につきましては、ふなっしーとのコラボレーション企画や新京成電鉄70周年記念コンサートを実施いたしましたほか、沿線健康ハイキングや果物狩り、千葉ロッテマリーンズや千葉ジェッツふなばしのラッピング電車の運行、行楽施設の前売り券や企画乗車券の販売などを継続的に実施し、旅客誘致と増収対策に努めました。

### 2017年度運輸成績

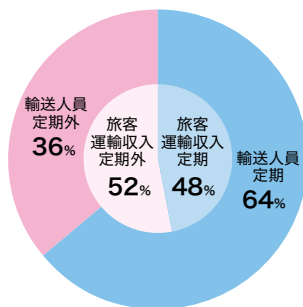
旅客営業キロ	26.5 キロ	
輸送人員	定期旅客	66,477 千人
	定期外旅客	37,680 千人
	総旅客	104,157 千人
輸送人キロ	定期旅客	507,666 千人キロ
	定期外旅客	243,773 千人キロ
	総旅客	751,439 千人キロ
旅客運輸収入	11,071,105 千円	
運輸雑収	333,275 千円	

### 2017年度1日平均、1人平均乗車キロおよび旅客運賃

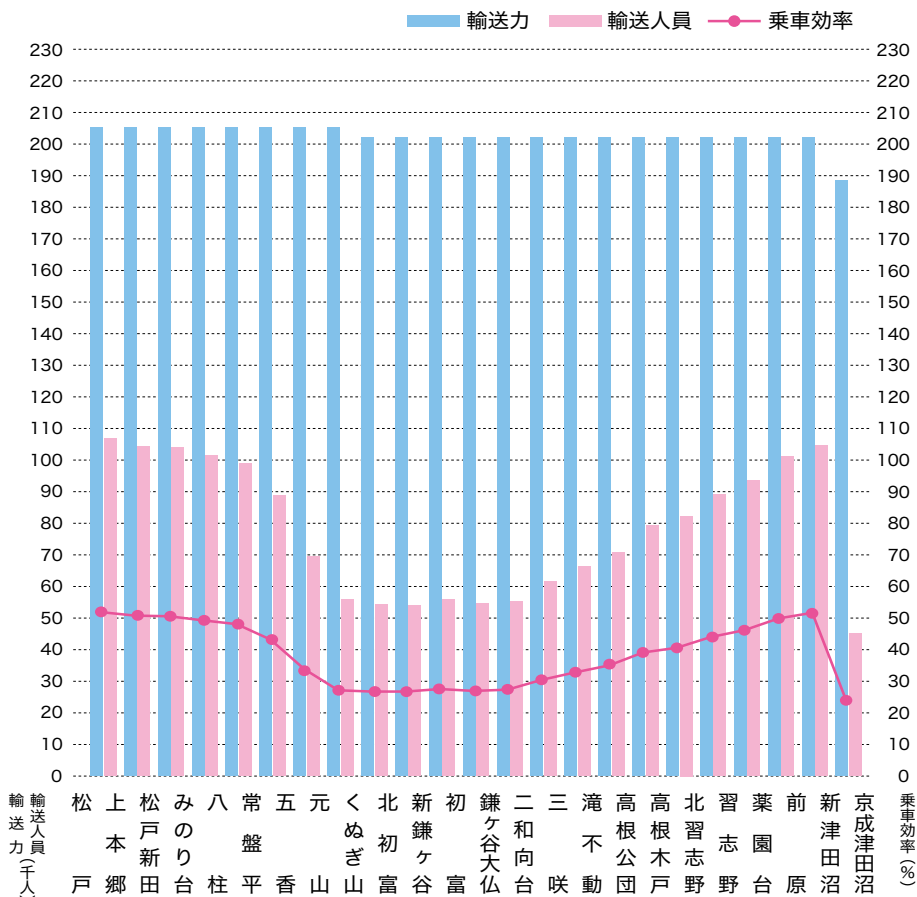
乗車効率（終日）	38.4%	
1日平均	客車走行キロ	40,624 キロ
	輸送人員	285 千人
	旅客運輸収入	30,332 千円
1人平均乗車キロ	定期旅客	7.64 キロ
	定期外旅客	6.47 キロ
	総旅客	7.22 キロ
1人平均旅客運賃	定期旅客	79.86 円
	定期外旅客	152.94 円
	総旅客	106.29 円

# 2017年度鉄道事業の概況

## 定期旅客と定期外旅客の割合



## 1日平均通過人員および乗車効率



# 所要時分表

	松戸	3	4	5	7	9	11	13	15	17	19	21	23	25	26	28	30	31	33	34	36	38	40	44
	3	上本郷	1	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	23	25	27	28	30	31	33	35	37	41
	4	1	松戸新田	1	3	5	7	9	11	13	15	17	19	21	22	24	26	27	29	30	32	34	36	40
	5	2	1	みどり台	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	21	23	25	26	28	29	31	33	35	39
	7	4	3	2	八柱	2	4	6	8	10	12	14	16	18	19	21	23	24	26	27	29	31	33	37
	9	6	5	4	2	常盤平	2	4	6	8	10	12	14	16	17	19	21	22	24	25	27	29	31	35
	11	8	7	6	4	2	五香	2	4	6	8	10	12	14	15	17	19	20	22	23	25	27	29	33
	13	10	9	8	6	4	2	元山	2	4	6	8	10	12	13	15	17	18	20	21	23	25	27	31
	15	12	11	10	8	6	4	2	くぬぎ山	2	4	6	8	10	11	13	15	16	18	19	21	23	25	29
	17	15	14	13	11	9	7	5	3	北初富	2	4	6	8	9	11	13	14	16	17	19	21	23	27
	19	16	15	14	12	10	8	6	4	1	新鎌谷	2	4	6	7	9	11	12	14	15	17	19	21	25
	21	18	17	16	14	12	10	8	6	3	2	初富	2	4	5	7	9	10	12	13	15	17	19	23
	23	21	20	19	17	15	13	11	9	6	5	3	鎌谷広	2	3	5	7	8	10	11	13	15	17	21
	25	22	21	20	18	16	14	12	10	7	6	4	1	二和町台	1	3	5	6	8	9	11	13	15	19
	26	24	23	22	20	18	16	14	12	9	8	6	3	2	三咲	2	4	5	7	8	10	12	14	18
	28	25	24	23	21	19	17	15	13	10	9	7	4	3	1	津不動	2	3	5	6	8	10	12	16
	30	27	26	25	23	21	19	17	15	12	11	9	6	5	3	2	高根公園	1	3	4	6	8	10	14
	31	28	27	26	24	22	20	18	16	13	12	10	7	6	4	3	1	高根木戸	2	3	5	7	9	13
	33	30	29	28	26	24	22	20	18	15	14	12	9	8	6	5	3	2	北千葉	1	3	5	7	11
	34	31	30	29	27	25	23	21	19	16	15	13	10	9	7	6	4	3	1	習志野	2	4	6	10
	36	33	32	31	29	27	25	23	21	18	17	15	12	11	9	8	6	5	3	2	薬園台	2	4	8
	38	35	34	33	31	29	27	25	23	20	19	17	14	13	11	10	8	7	5	4	2	船原	2	6
	40	37	36	35	33	31	29	27	25	22	21	19	16	15	13	12	10	9	7	6	4	2	新津田	3
	44	41	40	39	37	35	33	31	29	26	25	23	20	19	17	16	14	13	11	10	8	6	3	京成津田 京成津田用

下り(京成津田沼方面)の所要時分



上り(松戸方面)の所要時分

京成津田沼からの 京成千葉線所要時分	京成幕張本郷	京成幕張	検見川	京成稲毛	みどり台	西登戸	新千葉	京成千葉	千葉中央
	2	4	6	9	11	13	14	15	17

(2018年3月31日現在)



## 旅客運賃表

(単位：円)

営業 キロ程 (単位：キロ)	普通 旅客運賃 <sup>※2</sup> (対キロ区間制)		定期旅客運賃 <sup>※3</sup>					
	きっぷ	ICカード	通勤定期			通学定期		
			1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
1～5	150	144	5,460	15,570	29,490	2,940	8,380	15,880
6～9	180	174	6,240	17,790	33,700	3,370	9,610	18,200
10～13	200	195	7,010	19,980	37,860	3,790	10,810	20,470
14～17	220	216	7,790	22,210	42,070	4,210	12,000	22,740
18～22	240	237	8,580	24,460	46,340	4,630	13,200	25,010
23～27	260	258	9,370	26,710	50,600	5,050	14,400	27,270

(注) 京成津田沼・北習志野の相互間運賃は次の通りです。

6 (特定)	170	165	5,840	16,650	31,540	3,150	8,980	17,010
--------	-----	-----	-------	--------	--------	-------	-------	--------

※1 1キロ未満は1キロ単位に切り上げ

※2 小児旅客運賃:1円単位の小児の普通旅客運賃は1円単位の大人の普通旅客運賃の半額です。1円未満の端数は切り捨てます。  
10円単位の小児の普通旅客運賃は10円単位の大人の普通旅客運賃の半額です。10円未満の端数は10円単位に切り上げます。

※3 小児は半額 (10円未満は10円単位に切り上げ)

入場料金 150円 (大人・小児同額)

## 出改札システム

### ICカード PASMO

PASMOは、電波を利用した非接触式のICカードで、改札機にタッチして使用します。ICカードの全国相互利用に対応しており、全国の主な鉄道・バスで利用できます。

一旦チャージ(入金)をすれば、その都度乗車券を購入する手間が省け、残額が少なくなったら再度チャージして繰り返し使用できますので、資源の節約にもつながります。

PASMOには、無記名PASMOと記名PASMOの2種類があります。記名PASMOは氏名・生年月日等を登録することにより、紛失時に再発行できます。記名PASMOには鉄道定期券を載せるこ

とができるほか、小児用PASMOもあります。

また、電子マネーとしての機能があり、端末が設置されている駅コンビニや自動販売機、駐輪駐車場等で使用することもできます。



PASMOは(株)バスモの登録商標です。

## 出改札システム

### 自動券売機

全駅にタッチパネル式の自動券売機を導入しています。自動券売機では、切符だけではなく、新規・継続の定期券（新規の通学定期券など一部を除く）を、お客さまの操作により現金または京成カード（クレジットカード）で購入できます（京成津田沼を除く）。また、ICカード（※PASMO・Suica）にも対応し、チャージ・履歴印字等ができます。

2017年度より、当社のコーポレートカラーを基調とした新型券売機に順次更新しています。

※一部の券売機では、全国相互利用対応のICカードにも対応しております。



タッチパネル式の自動券売機

### 自動改札機とフェアスルーシステム (乗降確認システム)

車いす対応の幅広型も含め全駅に自動改札機を導入しています。

近年では、多くのお客さまにICカードをご利用いただいていることから、一部の改札機をIC専用機とするほか、通路構成も変更し、よりスムーズにご利用いただけるようにしました。

また、全てのお客さまに公平にご利用いただくことを目的に、フェアスルーシステム（乗降確認システム）を導入しています。このシステムでは、自動改札機等で乗車券へ入出場の情報を記録し、お客さまの乗降状況をチェックしています。



みのり台駅 IC カード対応・車いす対応自動改札機

### のりこし精算機

のりこし精算機は、全駅に設置しており、不足金額を現金・ICカードで精算できます。

また、全国相互利用対応のICカードにチャージすることもできます。



### 収入管理システム

駅後方事務の効率化と正確化を図るため、全駅で自動券売機や自動改札機等のデータが一括集計処理できる収入管理システムを導入しています。集計されたデータは、各駅より光回線を使用しオンラインにて本社に伝送処理されています。



### 窓口処理機

窓口処理機は、係員が改札窓口にて操作している機器で、乗車券の精算やICカードの状態を確認・処理することができます。その他にも、運賃検索やPASMOの発行、お客さまが紛失してしまったPASMOなどの再発行手続き、10円単位でのチャージなどを行うことができます。



2017年2月に全駅の改札窓口に設置している窓口処理機を更新しました。

### 係員定期券発行機

松戸・八柱・北習志野・新津田沼の4駅では、係員による定期券の発売を行っています。係員定期券発行機では、定期券の発売だけでなく、払戻やICカードの交換、多機能カードの更新処理などを行うことができます。また、窓口処理機と同様にPASMOの発行、お客さまが紛失してしまったPASMOなどの再発行手続き、10円単位でのチャージなども行うことができます。



## お客さまサービス・駅施設

### エレベーター・エスカレーター

現在、エレベーターは 21 駅に、エスカレーターは 19 駅に設置しています。



松戸駅エレベーター

### バリアフリーに対応したトイレ

車いすをご利用の方やお子さま連れの方などさまざまなお客さまにも安心してご利用いただけるように、ベビーシート(多目的シート含む)やベビーカー、オストメイト対応器具などを設けた車いす対応トイレ(個室)を導入し、現在 23 駅に設置しています(うち 20 駅は多機能トイレ)。



### メッセージ表示器

輸送障害時の運行情報をお客さまにご案内するメッセージ表示器を設置しており、全駅で運行情報の案内表示(一部、列車案内表示器を兼用)を実施しています。



### 列車案内表示器

ホームやコンコースでお客さまに列車の行先案内・発車時刻の案内等を自動的に表示します。現在 13 駅に設置しています。



### 自動放送装置

全駅において、列車の接近を知らせる放送や、啓発放送などを自動制御により行っています。2018年3月には全ての機器を更新しました。





## 遠隔監視システム

(2018年3月31日現在)

遠隔監視・遠隔制御による運用を8駅で実施しています。

被監視駅には防犯カメラやテレビ電話、インターホンを設置しています。被監視駅の事務室およびセンターには防犯カメラの映像を見るためのモニターとインターホンの受話器があり、時間帯により被監視駅またはセンターの係員が対応します。

また、センターには被監視駅の券売機・改札機等の状況を確認し制御するための操作盤を設置し、2016年9月には機器を更新しました。

なお、7時から22時までの間は係員が窓口でご案内しています。

導入年月日	被監視駅
2007年12月1日	松戸新田駅 前原駅
2010年4月1日	習志野駅
2011年6月16日	みのり台駅 滝不動駅
2012年6月16日	高根木戸駅
2013年8月1日	上本郷駅 三咲駅



防犯カメラ



テレビ電話



センターの監視モニター

## サービス介助士

「サービス介助士」の資格取得を推進しています。

「サービス介助士」資格は公益財団法人「日本ケアフィット共育機構」が認定する民間資格で、サービス介助の基本理念や基礎知識、接遇、実際の介助技術を習得した者に与えられます。有資格者は、お年寄りやお体の不自由なお客さまが安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅構内での移動などのお手伝いをさせていただきます。

なお、「サービス介助士」の資格を取得した駅係員の配置駅には、すぐにお客さまにおわかりいただけるよう、窓口「安心のサービス介助士マーク」を掲出しています。



### 駅従業員の資格取得状況 (2018年5月31日現在)

有資格者 駅従業員 141人  
※駅全従業員数 156人

## お客さまサービス・駅施設

### 駅施設バリアフリー設備の推進

お体の不自由なお客さまやご高齢のお客さまも安心して当社線をご利用になれるよう全駅に視覚障害者誘導ブロックを設置したのをはじめ、点字シール付自動券売機・点字運賃表（全駅）、階段手摺点字案内シート（全駅）、エスカレーター（19駅）、エレベーター（21駅）、スロープ（6駅）等を設置しているほか、列車内には優先座席を全車に設けています。



松戸新田駅下りホームスロープ

### AEDの設置

お客さまが心室細動を生じたとき、自動的に心電図を解析し電気ショックを与えて細動を取り除くAED（自動体外式除細動器）を全駅に設置しています。



### 車いす用スロープ板

ホームと列車との段差・すき間を解消し、車いすをご利用のお客さまが安全に列車に乗り降りできるように、全駅に車いす用スロープ板を設置しています。



## 運行情報ディスプレイ

列車の運行情報や大規模災害時の緊急放送などを表示する運行情報ディスプレイを、全駅に設置しています。

運行情報ディスプレイは、自社線や近隣他社線で運行支障が発生した際、文字と路線図で支障区間などを表示してご案内するものです。2018年3月15日からは、訪日外国人のお客さまへのご案内を強化するため4言語（日本語、英語、中国語（簡体字）、韓国語）での運行情報提供をしております。また、大規模災害時などはNHKの非常災害時緊急放送を放映することができるほか、平常時はおでかけ情報などを提供します。



## 駅案内サインと駅ナンバリング

お客さまに分かりやすく駅をご利用いただくために、案内サインを導入しています。現在のデザインは2014年に制定したシンボルマーク・コーポレートカラーに合わせたデザインとなっています。

また、外国人のお客さまや小さなお子さまなど、どなたにも分かりやすくご利用いただけることを目的に駅ナンバリングを導入しています。



## お客さまサービス・車両

### 車内文字案内装置・ドアチャイム

耳の不自由なお客さまのために、車両の出入り口上部に行き先、停車駅などをお知らせする案内装置を現在 138 両に設置しています。2016 年からは、一部車両を 4 カ国語表記にしました。

また、目の不自由なお客さまのために車両のドア開閉をお知らせするドアチャイムを現在 120 両に設置しています。



### 優先席

お年寄りやお体の不自由な方、妊娠されている方などの優先席を全車両（156 両）に設置し、窓ガラスに「優先席」のステッカーを貼付しています。また、優先席付近の吊り革を黄色に変更しています。



### 車いす・ベビーカースペース

車いすやベビーカーをご利用になるお客さまのために、車いす・ベビーカースペースの設置を進めています。現在 23 編成（46 両）に設置しています。



### 弱冷房車

冷房が苦手なお客さまにもご乗車いただきやすいように、温度を 28 度に設定（通常設定は 26 度）した弱冷房車を、1 編成に 1 両設定しています。



## 安全対策

### 安全方針と安全行動規範 (2006年10月1日制定) 輸送の安全に関する基本的な考え方

(1) 安全方針 (安全管理規程第2条第1項)  
社長及び役員は、関係法令を遵守し安全を最優先として事業運営を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するために、「社訓」及び「行動規準」を基本的な方針とし、これを周知する。

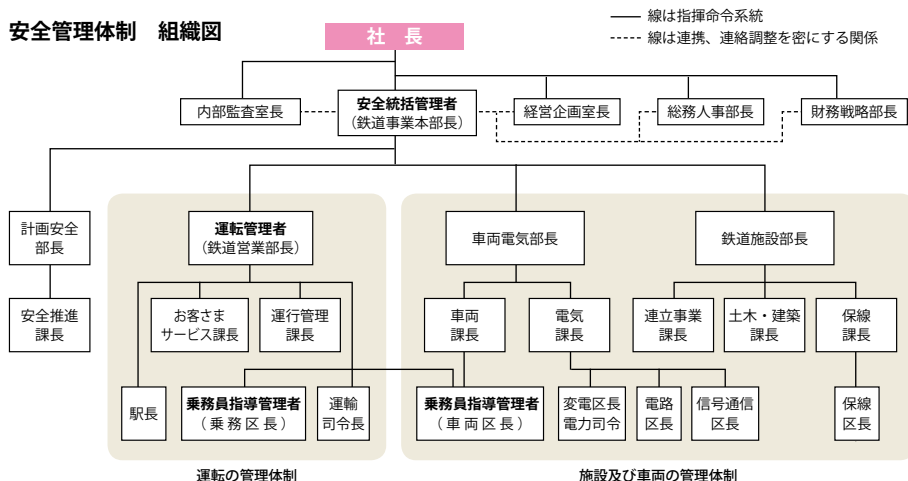
(2) 安全行動規範 (安全管理規程第2条第2項)  
・全員が協力一致して、輸送の安全の確保に努める。  
・輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。

- ・常に輸送の安全に関する状況を理解するように努める。
- ・職務の遂行にあたっては、憶測によらず安全最優先の原則から、確認の励行に努め、疑いのあるときは最も安全と思われる取り扱いをする。
- ・事故・災害等が発生した場合は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- ・情報は漏れなく正確、迅速に伝え、その共有を図る。
- ・常に輸送の安全に関し、問題意識をもって行動し、管理体制の不断の確認と、それに伴う必要な変革、改善へ積極的に対処する。

### 安全管理体制の確立

鉄道事業者は輸送の安全性向上に向けた取り組みが求められています。当社では2006年10月1日付で「安全管理規程」を制定(2016年6月28日付改正)し、経営トップから従事員全員が一丸となった安全管理体制を構築しています。

### 安全管理体制 組織図



当社においては「安全に関する内部監査」を毎年定期的実施し、P(計画)、D(実行)、C(評価)、A(改善)サイクルが機能した安全管理体制が適切かつ有効に運用されているかを検証し、適宜見直しと継続的改善を図っています。

また、安全を議題とする各種会議体を開催することで、事故等の報告、分析、再発防止策を審議し、常に安定した輸送の確保に努めています。

## 安全対策

### 安全報告書の公表

鉄道事業法に基づき当社の安全管理体制や安全対策の実施状況等の安全に対する取り組みをご理解いただくために、年度ごとに安全報告書を作成して当社ホームページに掲載しています。



### 列車の安全対策

#### ① TTC (列車運行管理装置)

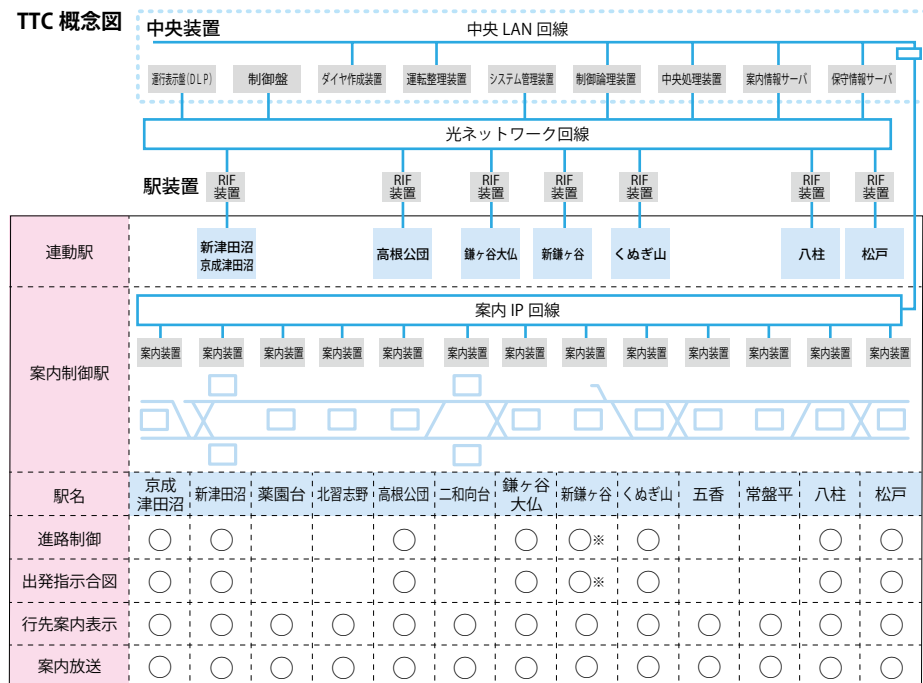
安全・安定輸送を維持するため1987年に導入したTTCを2004年に更新しました。

このシステムは、予め登録したダイヤによる自動進路制御の他、運転整理提案、手動進路制御、線路閉鎖等の機能を

有しています。運輸指令所では60インチ画面を4面配置し、グラフィック表示により列車運行状況、電力供給情報、地震情報、気象情報等を即時共有できるようにしました。

また、制御は液晶画面2面とマウス操作に変更し、操作性を向上させました。

#### TTC 概念図



※下りのみ

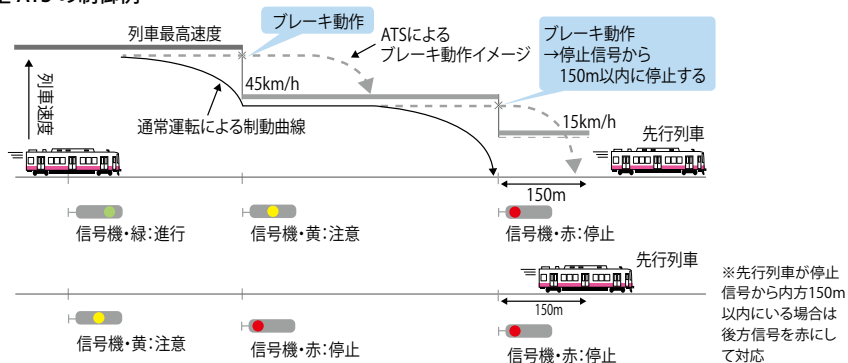
## 2 ATS (自動列車停止装置)

ATSは、列車が停止すべき箇所や減速すべき箇所を越えて進行した場合に、列車のブレーキを自動的に作動させて、事故の発生を防ぐための装置です。

当社では1979年から全線において「1号型ATS」を使用していますが、これはレー

ルに流れる信号電流の遮断時間により、信号現示に応じた速度情報を列車に伝達する方式のものです。「1号型ATS」では、基本的に45km/h制限と15km/h制限の2情報のみを地上から送信し、車上では受信時の速度に対し必要に応じてブレーキが作動します。

### 1号型ATSの制御例



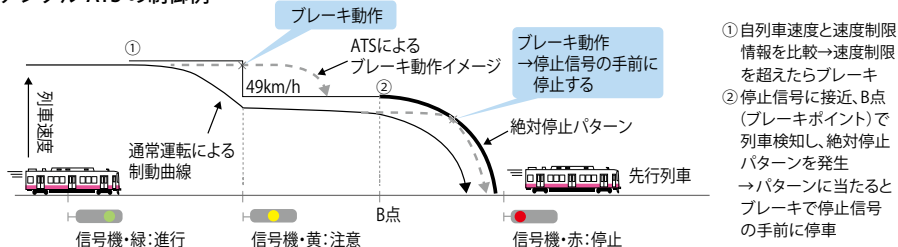
「1号型ATS」でも国が定める安全基準を満たしていますが、時代の要請に応えることと当社独自のさらに高い安全性の確保を目的として、2014年度よりデジタルATSの導入を開始しました(2018年3月時点で京成津田沼～前原間、初富～くぬぎ山間(下り線のみ)、くぬぎ山～松戸間で使用中。以降、新京成線全線へ順次導入予定)。

デジタルATSは信号現示や線路条件に応じ

た速度制限情報を、デジタル符号信号により地上から車上へ伝送する方式のもので、地上から車上へ伝達できる情報数が飛躍的に増大したことにより(最大63情報)、きめ細かい速度制限が可能となりました。

デジタルATSの特長としては、絶対停止機能を標準で使用できることや、パターン信号(自列車速度と速度制限情報を比較しながら速度超過の有無をチェックする仕組み)を使用できることが挙げられます。

### デジタルATSの制御例



## 安全対策

### ③ 継電連動装置と自動閉塞信号機

列車運行の安全を確保するため、停車場に構内の信号機と転轍器を連動させる第1種継電連動装置を設置しています。また、停留場および駅中間部に自動閉塞信号機を設置しています。

なお、信号機は3分ヘッド運行に対応できるように配置しています。

2018年3月に車両入換運転の保安度向上を目的とし、車両基地に第1種継電連動装置を導入しました。

信号保安設備表

設備名	設備数	
第1種継電連動 信号機	8力所	
	場内	19基
	出発	19基
	入換	17基
	閉塞	108基
中継	12基	
電気転轍器	25基	

車両基地第1種継電連動装置設備表

設備名	設備数
入換信号機	35基
電気転轍器	23基

### ④ 脱線防止ガード

車輪の乗り上がりによって、車両が脱線することを防ぐために、半径250m以下の曲線に脱線防止ガードを設置しています。



### ⑤ 運転士異常時列車停止装置・緊急スイッチ

運転士異常時列車停止装置は運転士が列車の走行中に一定時間運転操作を行わない場合、運転士に何らかの異常が発生したと判断し、安全確保のために非常ブレーキを動作させて列車を停止させる装置で、全編成に設置しています。

緊急スイッチは、列車に非常事態が発生した際に運転士が行うべき操作を1つのボタンで迅速に行うことができる装置で、22編成に設置しています。





## 踏切の安全対策

当社には 81 カ所の踏切があり、踏切の平均間隔は約 300m となっています。

踏切事故の防止を図るため、すべての踏切

に遮断機および警報機を設置しています。

また、交通量の多い踏切に踏切支障報知装置や大型踏切警報機を設置し、踏切事故の防止に役立てています。

### ① 踏切支障報知装置

#### 〈支障報知装置〉

踏切内に異常があり、列車を止める必要がある場合、非常ボタンを押すことで、特殊信号発光機を点灯させます。



#### 〈踏切障害物検知装置〉

列車接近時、自動車等により光線が遮断されると自動的に支障物として検知し、特殊信号発光機を点灯させます。



#### 〈特殊信号発光機〉

5 灯の赤色灯が 2 灯ずつ、回転点灯することにより、列車に対して踏切に異常があることを知らせます。



### ② 大型踏切警報機

通常は「踏切注意」の文字を表示し、列車接近時は赤色灯が点滅する大型の閃光灯を道路上空に設置し、踏切の視認性を向上させています。



視認性のよい大型踏切警報機

### ③ 踏切保安設備改善の推移

項目 年度	踏切数	踏切支障報知装置 設置踏切数	大型踏切警報機 設置踏切数
2008	81	47 (39)	7
2009	81	49 (40)	7
2010	81	52 (40)	7
2011	81	53 (41)	7
2012	81	57 (44)	7
2013	81	62 (46)	8
2014	81	72 (44)	8
2015	81	77 (46)	8
2016	81	77 (47)	8
2017	81	78 (48)	8

( ) 内は踏切障害物検知装置併設踏切数

## 安全対策

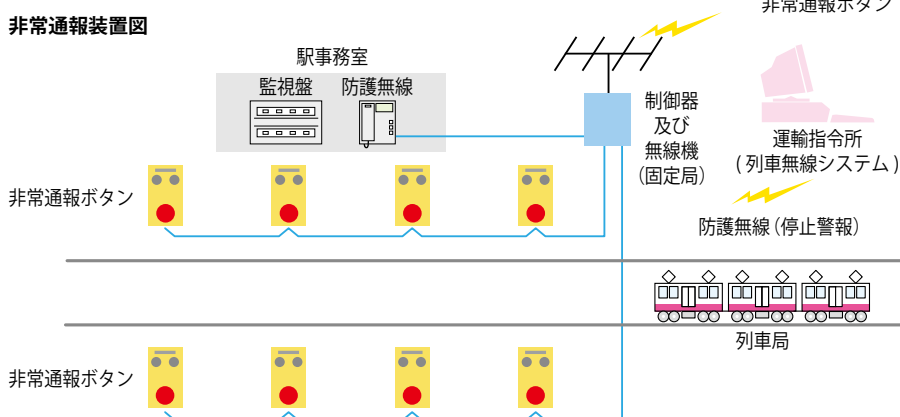
### 駅の安全対策

#### ① 非常通報装置

プラットフォームからの転落事故に対応するため、2002年から非常通報装置を導入し、全24駅に設置しました。プラットフォームに設置された非常通報ボタンが押されると防護無線を発報し、付近を走行している列車に停止警報を送出します。



#### 非常通報装置図



#### ② 車間転落防止幌

ホームからお客さまが車両連結部へ転落する事故を防止する車間転落防止幌を全編成に設置しています。



#### ③ CPライン

色彩心理学 (Color Psychology=CP) を活用し、ホームからお客さまが線路へ転落する事故を防止する対策としてCPラインを京成津田沼駅、八柱駅に導入しています。



## テロ・防災対策

### ① テロ対策

国土交通省が定める「鉄道テロ対策としての危機管理レベル」に基づき、レベルに応じた保安措置をマニュアル化するとともに、鉄道テロ発生を防止するため防犯カメラの設置、ゴミ箱の透明化、係員による巡回監視等を実施しています。



### ② 強風・降雨対策

#### 〈気象情報監視システム(風速計・雨量計)〉

風向風速計を2017年10月に2箇所増設し、現在は南花島橋梁(松戸～上本郷間)・新鎌ヶ谷(新鎌ヶ谷～初富間)・滝台橋梁(葉園台～前原間)・総武線乗越橋梁(新津田沼～京成津田沼間)に設置しています。また、雨量計は2017年10月に2箇所増設し、現在は南花島橋梁・新鎌ヶ谷・葉園台・総武線乗越橋梁に設置しています。



風向風速計

各所で観測した風向・風速および降雨量のデータは運輸指令所まで伝送させ集約しており、このデータに基づいて速度規制や運転休止等の「早め規制」判断に役立てています。

また集約したデータについては、関係する各職場においてモニタリングできるよう整備されており、運行管理の安全性と即時対応性の向上を図っています。

### ③ 地震対策

#### 〈地震計〉

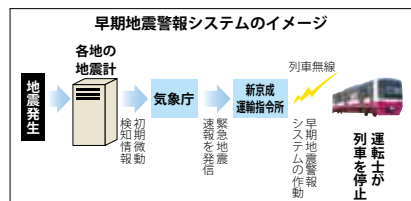
2014年2月に地震計を更新しました。地震計で一定程度以上の揺れを観測した場合には、列車無線を通じて自動的に全列車へ停止を指示します。これを受けた運転士は速やかに列車を安全な場所へ停止させます。

#### 〈早期地震警報システム〉

大規模地震発生時の被害を最小限に抑えるため、2007年11月に「早期地震警報システム」を導入しています。

このシステムでは、震源に近い地震計で観測した地震の初期微動(P波)の情報をもとに、その後の大きな揺れ(S波)の規模や到達時間を知らせる気象庁の「緊急地震速報」を当社の運輸指令所にて受信します。そして、被害の発生が予測される場合には、列車無線を通じて自動的に全列車へ運行停止を指示します。

2009年3月および2012年3月には、機能向上の改良を行い、安全性の向上に努めました。



## 安全対策

### 通信設備

鉄道では、運転保安および正確な列車運行の確保のため、正確迅速な情報伝達の必要があり、列車無線、保守無線、

各直通電話（運輸指令電話、鉄道業務電話など）を独自の情報伝達網として整備しています。

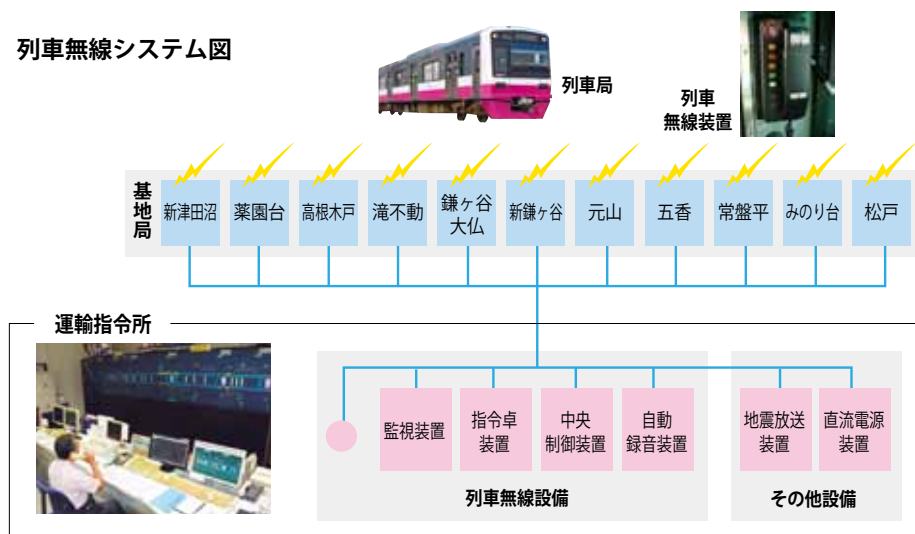
#### ① 列車無線

乗務員と運輸指令所間の連絡のため、1983年に導入した列車無線システムを2002年に更新しました。150 MHz帯の超短波2波を使用した同時送受話方式の無線電話で全線11カ所の基地局でカバーしています。システムにデジタル制御方式を採用し、運輸指令所から列車を呼出

すときは列車番号入力で個別に呼出すことができ、列車から運輸指令所を呼出すときは列車番号が表示されることで指令業務が迅速・確実にになりました。

なお、この無線には防護無線を併設しており、発報列車の半径約800mの範囲内を走行する列車に対し、停止警報を送出します。

#### 列車無線システム図



#### ② 保守無線

作業現場間または通信所との迅速な情報連絡を行うため、1996年に保守無線を導入、2010年には基地局を2カ所増設し、計3カ所としました。通信所

は本社、電力指令所、運輸指令所、乗務区、車両区、電路区、信号通信区および保線区に配置しています。

## 無線設備表

項目	列車無線		非常通報装置	保守無線	防災無線
	通話無線	防護無線			
送信周波数	150MHz帯2波	400MHz帯1波	400MHz帯1波	150MHz帯1波	150MHz帯1波
送信出力	1W	1W	1W	5W	5W
基地局	11局	—	24局	3局	1局
列車局	59局	59局	—	—	—
移動局	—	—	—	49局	63局
固定局	11局	—	24局	—	—

### 3 運輸指令電話

運輸指令電話は、運輸指令所と運転取扱駅との連絡のため設置した専用電話で2004年に更新しました。一斉指令が可能なデジタル電子交換機により構成されています。

運輸指令電話システム図



### 4 鉄道業務電話

鉄道業務電話は、駅、指令所、区、本社等の連絡のためのもので、高根木戸および五香に設置しているデジタル電子交換機を2007年に更新しました。これ

によりダイヤル即時通話が可能なシステムとしています。2014年には、駅係員用スマートフォンとの相互通話が可能となりました。

### 5 その他の通信設備

列車乗降時の安全確保や、お客さまへのサービス向上を図るため、各駅に各種の設備を設けています。曲線ホームや橋

上駅におけるお客さまの安全を確認するためのホーム監視用テレビ、列車の接近を案内する自動放送装置等があります。



ホーム監視用テレビ

設備名		設備数	設備名		設備数
自動放送装置設置駅		24駅			
ホーム監視用テレビ	設置駅	15駅	インターホン	設置駅	16駅
	カメラ	48台		親機	17台
	モニタ	48台		子機	39台
電気時計	設置駅	24駅	トークバック	設置駅	7駅
	親時計	24台		親機	6台
	子時計	100台		子機	26台

## 安全対策

### その他の対策

#### ① 異常時総合訓練の実施

毎年1回、事故・災害等発生時における負傷者救護、避難誘導、施設復旧、運行再開を迅速確実にできるようにするため、くぬぎ山車両基地において、沿線の消防署と連携して実施しています。

また異常時総合訓練とは別に、各職場においては、万一の事態を想定した応急復旧模擬訓練を定期的実施しています。



#### ② 安全講演会の実施

年2回、安全管理体制強化の一環として全社員を対象として実施しています。社外から講師を招き、体験談や考え方など、いろいろな視点での話を聞くことで、社員の安全意識の向上に努めています。



#### ③ 安全に関する内部監査の実施

安全管理体制のチェック機能として、経営管理部門（経営トップを含む総務・人事部門、財務戦略部門、経営企画部門）、鉄道事業本部各部門ならびに現業部門に対して当社社員による安全に関する内部監査を実施しており、これにより安全管理体制が適切かつ有効に運用されているかを検証しています。



#### 4 安全新聞の発行

社員の安全についての理解と、異なる職場同士の取り組みについての共有をさらに深めるため、社内で安全新聞を発行しています。

社内で共有する事故防止対策をはじめとして、他社で発生した事例も必要に応じて取り上げ、事故の未然防止のための情報を社員に提供することで安全意識の向上を図っています。



#### 5 引込防止注意喚起ステッカー

ドア開閉時にお客さまの手やカバンなどが戸袋に引き込まれないよう注意喚起するため、車両ドアの両側にステッカーを貼り付けています。



#### 6 踏切脱出体験

安全啓発活動の一環として、踏切内に取り残されてしまった際の脱出方法を知ってもらうために、踏切脱出体験を実施しています。新京成沿線健康ハイキングや新京成サクスフェスタ等で実施しており、毎年多くのお客さまに体験していただいています。



## 車両基地

### 車両基地の概要

1. 在籍人員	33人
2. 敷地面積	25,136.98㎡
3. 建物面積	3,739.26㎡
4. 主要業務	列車検査、月検査、随時検査
5. 設備機械	自動車両洗滌機 1基 軽工作機械、各種試験装置、 非常用復旧器材、貨物自動車、 軽貨物自動車、セキュリティ侵入 防止システム、連動装置
6. 収容能力	156両

### 検修場の概要(作業は外注化方式で施工)

1. 敷地面積	8,753.00㎡
2. 建物面積	6,994.01㎡
3. 主要業務	車両の定期検査(全般検査、 重要部検査)・改造・更新修繕・ 随時修繕、車輪の削正、その他
4. 設備機械	専用設備(工作機械、動力機械他) 22台 荷役設備(クレーン、運搬車他) 17台 試験装置(各種車両用試験装置他) 9台 台車洗浄装置 1基 部品洗浄装置 5台 主回路試験装置 1台 列車性能試験装置 1基 車輪転旋盤 1台 自動超音波探傷装置 1基 磁粉探傷装置 1台 輪重測定装置 1台

### 車両基地のあらし

車両の検修施設は1975年9月にくぬぎ山車両基地を建設し、同年11月から業務を開始しました。

1979年4月、同基地に隣接した車両検修場が完成、外注による検修業務を開始しました。

1982年3月には輸送力増強計画に基づき、同基地の改造および拡張工事を行いました。また、1998年4月に留置線増線工事を行い車両の収容能力の増加を図りました。

2018年3月には同基地の車両入換作業の安全性向上のため連動装置を導入しました。



台車の点検(月検査)



## 車両の点検整備

列車を安全に運行するには、車両を常時最善の状態に整備しておくことが必要です。このため、列車を営業線に出すための日常点検と、定められた一定期間ごとに行う検査を実施しなければなりません。

日常点検として、出庫前には出庫点検、入庫後には納庫点検を行います。また、列車検査、月検査、重要部検査、全般検査を行い、それぞれの検査の目的に沿って車両を整備し、列車の状態を最善の状態に維持します。



ブレーキ装置の点検（月検査）



パンタグラフの点検（月検査）



コンプレッサーの点検（月検査）

## 車両

当社では、1971年から1975年までに当社初の新造車両である800形車両36両を導入しました。その後、1978年から1985年までに当社初の冷房車両である8000形車両54両を導入しました。

1986年から他の民鉄に先駆けてVVVFインバータを採用した8800形車両を1991年までに96両導入しました。その後、1993年から1996年までに、ステンレス車体、シングルアームパンタグラフを採用し、省メンテナンス化および省エネルギー化を目指した8900形車両24両を導入しました。

2005年からさらなる環境への配慮と省エネルギー化を図ったN800形車両24両を導入し、サービス向上に努めています。

2008年から8000形車両30両にVVVF制御化改造工事を施工し、2013年に全ての車両がVVVFインバータ車となりました。

なお、2014年より、VIカラーであるジェントルピンクを車体裾部に配し、車体上部はベース色を白としたシンプルでさわやかな印象を与える新塗装に順次変更しています。



車両ラインアップ（左から、N800形、8900形、8800形、8000形）

## 車両の概要

### 8000形



1978年11月より導入。当社初の電気ブレーキ、両開きドア、冷房装置を採用しました。1981年以降の車両は回生ブレーキ付界磁チョッパー制御車となりました。2008年からは省電力、省力、低騒音を図るためVVVF化改造を実施しました。

### 8800形



1986年1月より導入。1500V区間用電車として世界初の長編成VVVFインバータ車両で空気バネ台車を採用し、乗り心地を向上させました。1998年度から純電気ブレーキの採用やバリアフリー化、速度センサレス制御化改造を順次行いました。2016年よりフルSiC素子を適用したVVVFインバータへの更新工事を実施し、さらなる省電力化を図っています。2017年からは内装の更新工事を実施しています。

### 8900形



1993年9月より導入。自動放送、車内文字案内、車いすスペースなど旅客サービスを充実させました。車体はオールステンレスでボルスタレス空気バネ台車、シングルアームパンタグラフを採用しました。また、1998年からは停止まで回生ブレーキを制御する純電気ブレーキを採用しました。

### N800形



2005年5月より導入。京成グループ標準設計をベースに「人に優しい車両」として4編成が在籍しています。車体はオールステンレスで空気バネ台車を採用し、乗り心地を向上しました。素子冷却に純水を使用し、環境にやさしくなりました。また停止まで回生ブレーキを制御する純電気ブレーキで省電力化を図りました。

# 在籍車両一覧表

(2018年3月31日現在)

合計 156 両

6 連 × 26 = 156 両

松戸寄	★	8512	-	◇ 8024	-	8023	-	◇ 8022	-	8021	-	8511	京成津田沼寄
	★	8514	-	◇ 8028	-	8027	-	◇ 8026	-	8025	-	8513	
	★	8518	-	◇ 8036	-	8035	-	◇ 8034	-	8033	-	8517	
	★	8801-6	-	◇ 8801-5	-	8801-4	-	◇ 8801-3	-	8801-2	-	8801-1	
	★	8802-6	-	◇ 8802-5	-	8802-4	-	◇ 8802-3	-	8802-2	-	8802-1	
	★	8803-6	-	◇ 8803-5	-	8803-4	-	◇ 8803-3	-	8803-2	-	8803-1	
	★	8804-6	-	◇ 8804-5	-	8804-4	-	◇ 8804-3	-	8804-2	-	8804-1	
		8805-6	-	◇ 8805-5	-	8805-4	-	◇ 8805-3	-	8805-2	-	8805-1	
		8806-6	-	◇ 8806-5	-	8806-4	-	◇ 8806-3	-	8806-2	-	8806-1	
		8807-6	-	◇ 8807-5	-	8807-4	-	◇ 8807-3	-	8807-2	-	8807-1	
	★	8808-6	-	◇ 8808-5	-	8808-4	-	◇ 8808-3	-	8808-2	-	8808-1	
		8809-6	-	◇ 8809-5	-	8809-4	-	◇ 8809-3	-	8809-2	-	8809-1	
		8810-6	-	◇ 8810-5	-	8810-4	-	◇ 8810-3	-	8810-2	-	8810-1	
	★	8811-6	-	◇ 8811-5	-	8811-4	-	◇ 8811-3	-	8811-2	-	8811-1	
	★	8812-6	-	◇ 8812-5	-	8812-4	-	◇ 8812-3	-	8812-2	-	8812-1	
		8813-6	-	◇ 8813-5	-	8813-4	-	◇ 8813-3	-	8813-2	-	8813-1	
		8814-6	-	◇ 8814-5	-	8814-4	-	◇ 8814-3	-	8814-2	-	8814-1	
		8815-6	-	◇ 8815-5	-	8815-4	-	◇ 8815-3	-	8815-2	-	8815-1	
	★	8816-6	-	◇ 8816-5	-	8816-4	-	◇ 8816-3	-	8816-2	-	8816-1	
		8918	-	◇ 8917	-	8916	-	◇ 8913	-	8912	-	8911	
		8928	-	◇ 8927	-	8926	-	◇ 8923	-	8922	-	8921	
		8938	-	◇ 8937	-	8936	-	◇ 8933	-	8932	-	8931	
	★	N818	-	◇ N817	-	N816	-	N813	-	◇ N812	-	N811	
	★	N828	-	◇ N827	-	N826	-	N823	-	◇ N822	-	N821	
	★	N838	-	◇ N837	-	N836	-	N833	-	◇ N832	-	N831	
	★	N848	-	◇ N847	-	N846	-	N843	-	◇ N842	-	N841	

★…京成千葉線乗り入れ対応編成

## 線路の強化と保守

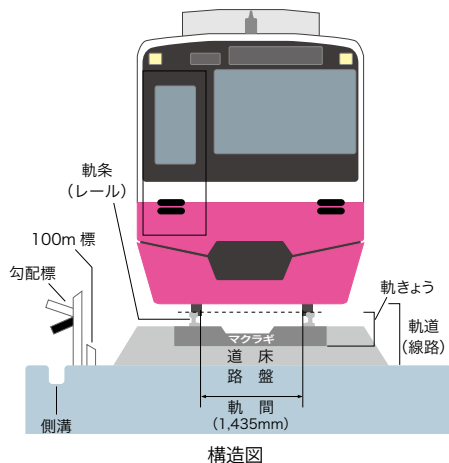
線路は列車の走行や自然の力によって常に影響を受けていますので、線路を正常な状態に保つために日夜、保守点検作業を行っています。

線路の弱点であるレール継ぎ目は、ロングレール（1本のレールの長さが200m以上のものをいう）化によって減

らすことができます。

当社の場合、曲線半径400m以上の区間をロングレール化しており、本線路約53kmのうち約24kmが完了しています。

軌条の運搬にはモーターカーを使用しており、現在2両在籍しています。



構造図



ロングレール化工を行った線路



モーターカー

### 軌条重量別軌道延長表

(単線換算軌道延長 単位：m)

本線		軌条				側線		合計
60kg	50kgN	計	50kgN	40kgN	37kg	計		
479	52,545	53,024	653	339	4,946	5,938	58,962	

### マクラギ敷設延長表

(単線換算軌道延長 単位：m)

本線			側線		合計
PCマクラギ	木マクラギ	合成マクラギ	スラブ		
50,486	479	866	1,193		53,024

### 線路表

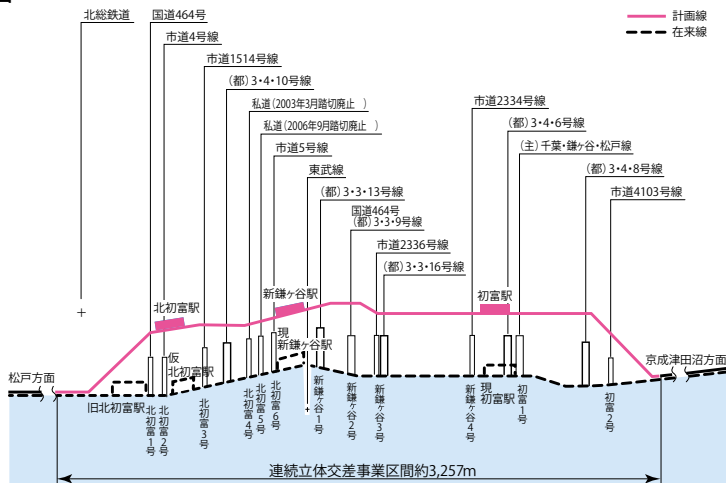
動力	軌間 (mm)	本線路延長			単線換算軌道延長		
		単線 (m)	複線 (m)	計 (m)	本線 (m)	側線 (m)	計 (m)
電気	1,435	1,237	25,316	26,553	53,024	5,938	58,962

## 連続立体交差事業

鎌ヶ谷市内の鎌ヶ谷大仏駅～ぬぎ山駅間において、千葉県を事業主体として鎌ヶ谷市および当社の三者共同で約3.3kmを高架化する事業で、12ヵ所の踏切を廃止するとともに鎌ヶ谷市内の交通渋滞の緩和と踏切事故の解消を目指しています。また、高架化することにより

街の分断が解消され、総合的な街づくりがより行いやすくなるなど、その効果が期待されており、2017年10月に下り線（津田沼方面行き）を高架化しました。上り線（松戸方面行き）高架化は、2019年度の予定です。その後、関連側道等の整備を進め、事業完了は2024年3月を予定しています。

縦断面図



平面図



## 工事の進捗状況

### ① 初富駅付近

2013年2月2日(土)終車後に仮上り線(松戸方面行き)、2014年5月17日(土)終車後に仮下り線(津田沼方面行き)への線路切替工事、同年10月4日(土)終車後に仮駅舎への移転工事を経て、2017年10月21日(土)より下り線(津田沼方面行き)を高架化しました。2019年度の上り線(松戸方面行き)高架化に向けて工事を進めてまいります。



### ② 新鎌ヶ谷駅付近

2004年2月21日(土)終車後に仮上下線(松戸方面および津田沼方面行き)への線路切替工事を経て、2017年10月21日(土)より下り線(津田沼方面行き)を高架化しました。2019年度の上り線(松戸方面行き)高架化に向けて工事を進めてまいります。



### ③ 北初富駅付近

2014年2月22日(土)終車後に仮上下線(松戸方面および津田沼方面行き)への線路切替工事を実施し、併せて北初富駅の仮駅移転(津田沼方に約150m移動)を経て、2017年10月21日(土)より下り線(津田沼方面行き)を高架化しました。2019年度の上り線(松戸方面行き)高架化に向けて工事を進めてまいります。



## 駅完成イメージ

初富駅



新鎌ヶ谷駅



北初富駅



## 鉄道電力

鉄道で使用する電力は、列車を動かす運転用電力と駅の照明・動力や信号機・踏切警報機等に使用する付帯用電力があります。

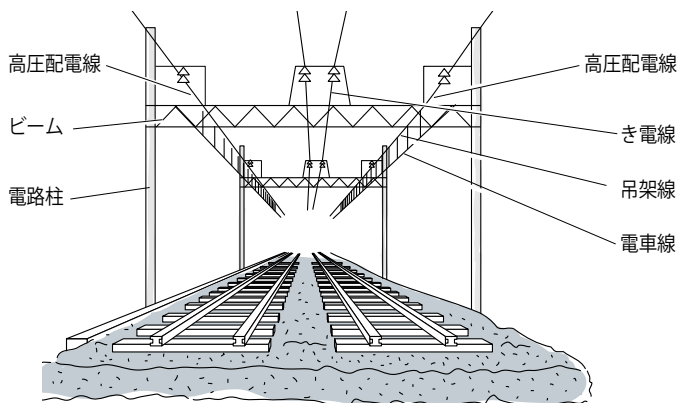
電力会社から特別高圧 60kV の電力を 5 ヶ所の自社変電所で受電し、運転用電力は直流 1,500V に変圧・整流し、き電線・電車線を経て列車に、付帯用電力は交流 6,600V に変圧し、高圧配電線を経て

駅の電灯動力設備や信号機、踏切警報機等にそれぞれ供給しています。

年間で 42.27 百万 kWh、1 日当たり 0.12 百万 kWh の電力を使用していますが、運転用電力、付帯用電力それぞれの割合は 75.2%と 24.8%です。

2016 年 6 月に各変電所を制御・監視している電力管理システムを更新して安全性・信頼性の向上を図っています。

### 電力設備と集中遠隔制御（電力指令所）



電路設備図



変電所



電力指令所



## 電力設備と保守

鉄道線路に沿って設けられた電車線、き電線および高圧配電線等と、これを支える電柱、ビーム等の支持物が电路設備です。

電車線は重負荷に対応したヘビーシンプルカタナリー（170mm<sup>2</sup>）方式を採用し

ています。

支持物は、コンクリート柱と鉄柱を使用していますが、支持物は順次強化コンクリート柱（N柱）化、かご型ビーム化して耐震性の向上を図っています。

### 電車線・高圧配電線

名称	亘長	延長	電線	種別
電車線	26.5 km	60.9 km	異形溝付硬銅線	170 mm <sup>2</sup>
吊架線	26.5 km	60.9 km	亜鉛鍍銅撚線・硬銅撚線	90 mm <sup>2</sup> ・356 mm <sup>2</sup>
き電線	26.6 km	108.8 km	硬アルミ撚線	510 mm <sup>2</sup>
高圧配電線	26.6 km	52.7 km	トリプレックス型電力ケーブル	60 mm <sup>2</sup>

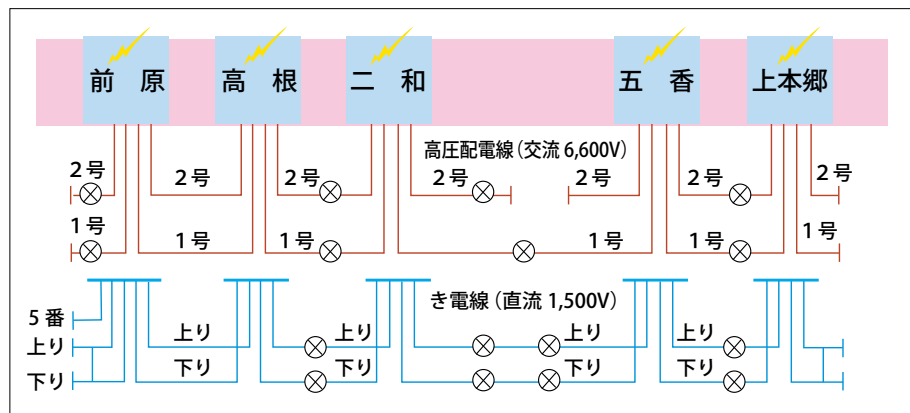
### 支持物

種別	数量
鉄柱	293 本
コンクリート柱	1,389 本
ビーム	887 基

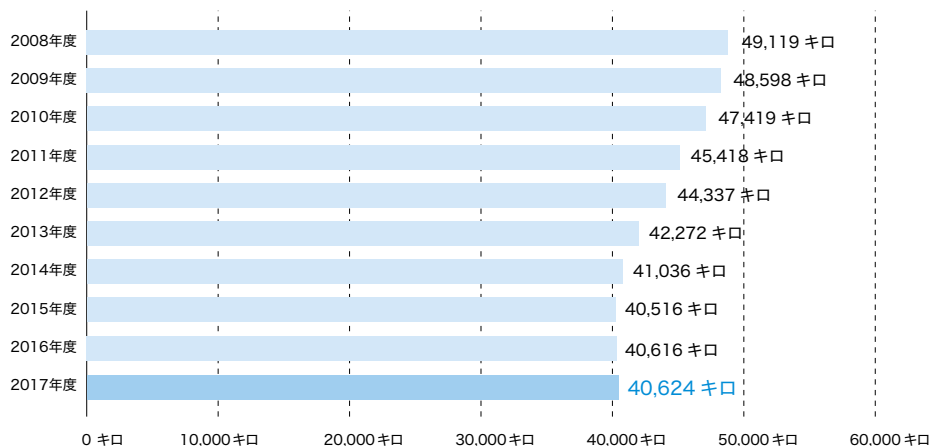
### 変圧器

種別	数量
電灯用	60 台 (4,995kVA)
動力用	34 台 (3,430kVA)
信号用	38 台 (2,300kVA)

### 送電系統図



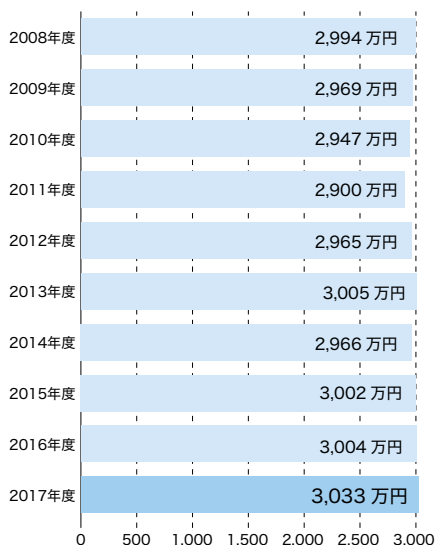
## 1 日平均客車走行キロの推移



## 1 日平均輸送人員の推移



## 1 日平均旅客運輸収入の推移



### ラッシュ時における最混雑区間の輸送量および混雑率の推移（最混雑 1 時間平均）

年度 項目	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
輸 送 力	10,694 人	10,444 人	10,444 人	11,190 人	10,444 人
輸 送 人 員	12,015 人	12,640 人	13,068 人	13,962 人	12,804 人
混 雑 率	112%	121%	125%	125%	123%

（注）最混雑区間 上本郷 ▶ 松戸

### 運賃改定の推移

改定年月日	運 賃
1947.12.27	賃率（キロ当たり）50 銭
1948.05.18	〃 87 銭 5 厘
1948.07.18	〃 1 円 70 銭
1950.04.01	〃 2 円 20 銭
1951.12.15	〃 3 円 00 銭
1953.03.04	〃 3 円 60 銭
1955.04.01	〃 3 円 00 銭
1963.02.01	〃 3 円 60 銭
1965.09.01	初乗 20 円
1970.02.22	〃 30 円
1973.08.18	〃 40 円
1975.08.15	〃 60 円
1978.09.22	〃 80 円
1980.11.21	〃 90 円
1982.11.20	〃 100 円
1984.11.21	〃 110 円
1986.12.01	〃 120 円
1989.04.01 (消費税導入)	〃 120 円
1995.10.01	〃 140 円
1997.04.01 (消費税率変更)	〃 140 円
2014.04.01 (消費税率変更)	〃 きっぷ 150 円
	〃 ICカード 144 円

## 鉄道事業資料

### 最近 10 年間の設備投資額

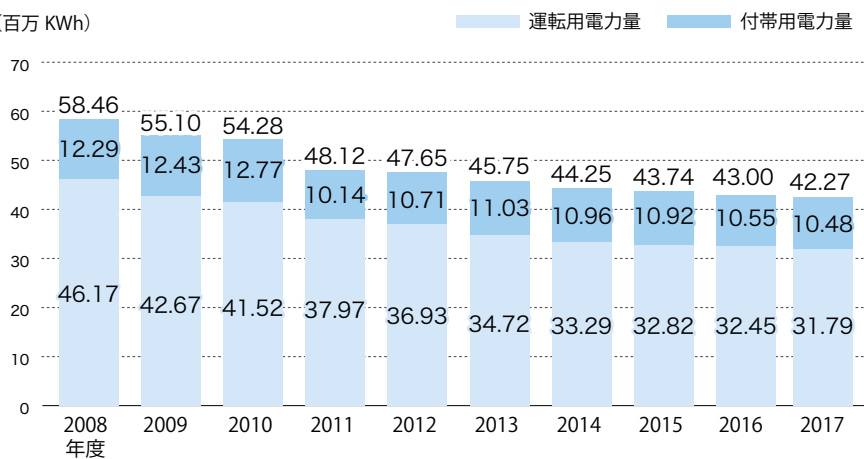
期 間	投 資 額	期 間	投 資 額
2008 年度	2,733 百万円	2013 年度	1,931 百万円
2009 年度	2,448 百万円	2014 年度	2,352 百万円
2010 年度	2,614 百万円	2015 年度	2,999 百万円
2011 年度	2,010 百万円	2016 年度	2,712 百万円
2012 年度	2,357 百万円	2017 年度	3,159 百万円

### 車両数の推移

年度 項目	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
電動客車	110	110	100	96	92	88	88	88	88	88
制御客車	50	50	48	48	46	46	46	44	44	44
付随客車	36	36	32	30	30	28	22	24	24	24
計	196	196	180	174	168	162	156	156	156	156

### 電力消費量の推移

(百万 kWh)



駅一覧

駅名	所在地	電話番号	駅開業年月日	エレベーター	エスカレーター	スロープ	車いす対応型トイレ	AED
松戸	松戸市松戸 1181	(047) 362-2014	1955. 4. 21	○	○	—	○	○
上本郷	松戸市上本郷 2648-11	※ 1	〃	○	○	—	○	○
松戸新田	松戸市松戸新田 264-2	※ 1	〃	—	—	○	○	○
みのり台	松戸市松戸新田 575-19	※ 1	〃	—	—	○	○	○
八柱	松戸市日暮 1-1-16	(047)387-3451	〃	○	○	—	○	○
常盤平	松戸市常盤平 1-29	(〃) 387-3900	〃	○	○	—	○	○
五香	松戸市金ヶ作 408-8	(〃) 387-4394	〃	○	○	—	○	○
元山	松戸市五香南 1-5-1	(〃) 387-3684	〃	○	○	—	○	○
くぬぎ山	鎌ヶ谷市くぬぎ山 5-1-6	(〃) 443-8268	〃	○	—	—	○	○
北初富	鎌ヶ谷市北初富 4-6	(〃) 444-5451	〃	○	○	—	○	○
新鎌ヶ谷	鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 1-13-1	(〃) 442-2664	1992. 7. 8	○	○	○	○	○
初富	鎌ヶ谷市中央 1-2-6	(〃) 443-8269	1949.10. 7	○	○	—	○	○
鎌ヶ谷大仏	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 1-8-1	(〃) 443-8267	〃 . 1. 8	○	○	—	○	○
二和向台	船橋市二和東 5-38-1	(〃) 448-1020	〃 . 3.16	○	○	○	○	○
三咲	船橋市三咲 2-2-1	※ 2	〃 . 1. 8	○	○	—	○	○
滝不動	船橋市南三咲 3-23-1	※ 2	1948. 8. 26	○	○	—	○	○
高根公団	船橋市高根台 1-6-1	(047) 466-4224	1961. 8. 1	○	○	—	○	○
高根木戸	船橋市習志野台 1-1-3	※ 2	1948.10. 8	○	○	—	○	○
北習志野	船橋市習志野台 3-1-1	(047) 465-3020	1966. 4.11	○	○	—	○	○
習志野	船橋市習志野台 4-1-9	※ 3	1948.10. 8	○	—	○	○	○
薬園台	船橋市薬園台 6-1-1	(047) 466-4328	1947.12.27	○	○	—	○	○
前原	船橋市前原西 7-17-21	※ 3	1948.12.13	—	—	○	—	○
新津田沼	習志野市津田沼 1-10-35	(047) 475-1171	1947.12.27	○	○	—	○	○
京成津田沼	習志野市津田沼 3-1-1	(〃) 478-1414	1953.11. 1	○	○	—	○	○

※ 1 は、松戸駅へご連絡ください (047-362-2014)  
 ※ 2 は、北習志野駅へご連絡ください (047-465-3020)  
 ※ 3 は、新津田沼駅へご連絡ください (047-475-1171)

## 鉄道事業資料

### 駅別乗降人員数

(1日平均)

駅名	2017年度		2016年度	
	乗降人員数(人)	順位	乗降人員数(人)	順位
松戸	106,728	1	106,525	1
上本郷	7,225	21	7,186	20
松戸新田	6,497	22	6,540	22
みのり台	8,804	17	8,642	17
八柱	45,578	4	45,360	3
常盤平	18,934	8	18,888	8
五香	30,125	7	30,170	7
元山	18,458	9	18,621	9
くぬぎ山	7,331	20	7,110	21
北初富	5,225	24	5,068	24
新鎌ヶ谷	34,156	6	33,530	6
初富	5,587	23	5,500	23
鎌ヶ谷大仏	14,674	13	14,460	13
二和向台	17,799	10	17,778	10
三咲	13,752	14	13,385	14
滝不動	7,642	19	7,635	19
高根公団	15,593	11	15,443	11
高根木戸	8,414	18	8,311	18
北習志野	46,108	3	45,305	4
習志野	13,396	15	13,222	15
薬園台	15,038	12	14,794	12
前原	8,932	16	8,763	16
新津田沼	69,575	2	69,584	2
京成津田沼	45,151	5	44,244	5
合計	570,722	—	566,064	—

橋梁

名称 (横断する 道路・線路)	実測 中心 キロ程	橋台面 間長	材質・構造	支間	角度	橋台	完成年月
県道架道橋 (千葉県道)	— 0K 643.6M	15.8M	下路鋼床版桁	17.0M	直角	コンク リート	1972年5月
総武線 乗越橋梁 (JR総武線)	— 0K 623.2M	21.4M	下路鋼板桁	22.2M	直角	煉瓦	不明
藤崎台橋梁 (習志野市道)	— 0K 373.7M	12.8M	下路鋼床版桁	13.7M	左 59° 21' 11"	コンク リート	1973年6月
滝台橋梁 (船橋市道)	2K 065.1M	48.4M	上路鋼板桁	9.6M 22.3M 16.1M	直角	〃	上り 1944年 (1947年12月 供用開始) 下り 1909年 (1963年10月 供用開始)
丸山橋梁 (鎌ヶ谷市道)	10K 840.0M	9.7M	PC桁	10.5M	右 67° 50' 34"	〃	1982年4月
東武線 乗越仮橋梁 (東武野田線)	13K 057.7M	34.9M	上路鋼板工事桁 枕木抱込み式工事桁 上路鋼板工事桁	8.4M 16.3M 8.4M	右 67° 53' 05"	H鋼杭 RC橋台	2004年2月
五香橋梁 (千葉県道)	17K 676.3M	—	鉄筋コンクリート 3スパン函渠	内径 8.0M × 1 13.1M × 2	左 77° 52' 48"	—	1999年3月
陣屋前橋梁 (松戸市道)	20K 700.0M	—	鉄筋コンクリート 2スパン函渠	内径 10.3M × 2	左 61° 38' 44"	—	1989年3月
南花鳥架道橋 (国道)	23K 822.6M	18.4M	下路鋼床版桁	19.2M	右 76° 48' 00"	コンク リート	1955年3月
小根本架道橋 (松戸市道)	24K 270.0M	3.0M	PC桁	3.3M	直角	〃	1955年4月



藤崎台橋梁

## 四 不動産事業



当社の不動産事業には、不動産販売事業と不動産賃貸事業があります。

不動産販売事業は、1955年京成津田沼～松戸間の全線開通を機に宅地建物取引業の登録を行い、土地分譲、戸建分譲などを展開してきました。

不動産賃貸事業は、1973年竣工の常盤平駅ビルより最初の一步を踏み出し、現在では駅および駅前を中心に、商業施設、スポーツ施設、高齢者施設を賃貸しているほか、物流施設やロードサイド施設の展開も行っています。



## 不動産販売事業

不動産販売事業では、戸建住宅用地の分譲販売を推進しており、2000年代以降「千葉市緑区おゆみ野南土地」「佐倉市西志津土地」の販売を行い、2016年度から東葉高速鉄道線「八千代緑が丘」の北西に広がる西八千代北部特定土地区画整理事業「八千代緑が丘はぐみの杜」内で「新京成タウン八千代緑が丘（全

61区画／8,542㎡）」の販売を行っています。2017年度末までに46区画を販売し、2018年度は最終期15区画の販売をすすめています。

このほか、2017年度には「八千代緑が丘はぐみの杜」内に所有する土地の一部（12,105㎡）を更地売却しました。

## 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、住みやすい沿線・選ばれる沿線を目指して鉄道・バスとの相乗効果を踏まえた事業展開を行っており、駅と機能的に結合した商業施設や利便性の高い立地特性を生かした駅前型の物件はもとより、ロードサイド型の物件開発にも力を入れています。

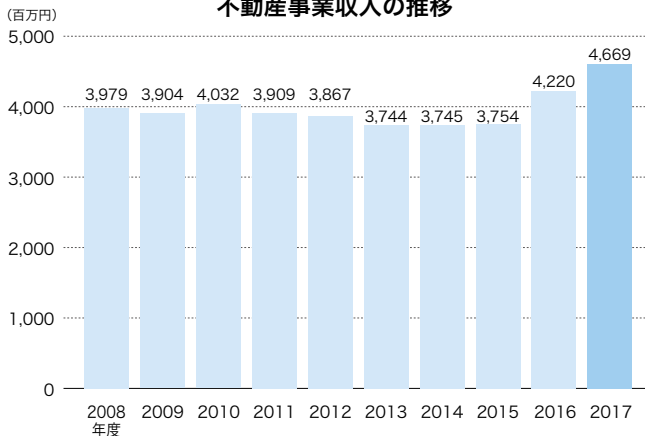
近年は、駅前型として「薬園台駅前ビル（住宅型有料老人ホーム／2015年）」および「三咲駅前店舗（歯科診療所／2016年）」、ロードサイド型として「西

志津建物（飲食店／2017年）」および「三矢小台建物（飲食店／2018年）」の賃貸を開始しています。

また、新たな収益源確保への取り組みとして、2017年には、津田沼14番街ビルに隣接する複合用途賃貸ビル1棟を取得いたしました。

今後の取り組みとしては、新津田沼駅周辺保有土地について、利便性向上と周辺環境に調和したまちづくりを計画していきます。

不動産事業収入の推移



(2018年6月30日現在)

施設名	所在地	階層	延床面積 (m <sup>2</sup> )	主要賃貸先	竣工年月日
常盤平駅ビル	松戸市常盤平	地上14階 地下1階 (当社2階まで)	7,242.88 (1,745.16)	(株)千葉銀行	1973.8.20
高根公園駅ビル	船橋市高根台	地上3階	2,103.70	(株)セリア(100円ショップ)、 (株)三喜(衣料等販売)	1976.7.2
津田沼12番街ビル	習志野市津田沼	地上8階 地下2階	35,807.66	(株)イトーヨーカ堂	1977.10.20
津田沼14番街ビル	習志野市津田沼	地上8階 地下1階	15,311.48	(株)ファーストリテイリング	1978.1.31
新津田沼駐車場ビル	習志野市津田沼	地上5階 地下2階	18,851.70	(株)イトーヨーカ堂 (駐車場)	1979.5.31
五香駅東口ビル	松戸市金ヶ作	地上2階	1,731.83	(株)コナミスポーツクラブ	1980.11.30
昭和三ビル*	習志野市津田沼	地上9階 (地下1階)	2,108.26	(株)市進、(株)ハイデイ日高(中華食堂)	1981.1.23
常盤平駅北口ビル	松戸市常盤平	地上1階 (一部3階)	1,729.42	(株)ダンロップテニススクール	1982.5.25
津田沼19番街ビル	習志野市津田沼	地上2階 (一部中3階付)	5,560.53	(株)コナミスポーツクラブ	1984.7.13
八柱駅第1ビル	松戸市日暮	地上3階	2,484.58	(医)愛育会(歯科)、 (株)興学社(学習塾)	1985.2.20
五香駅西口ビル	松戸市常盤平	地上4階	2,892.11	(株)千葉銀行、(株)セブン-イレブン・ ジャパン	1985.7.1
鎌ヶ谷大仏駅ビル	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷	地上4階	2,227.50	山崎製パン(株) (株)カルチャー(カ ルチャー教室)	1985.8.31
上本郷駅ビル	松戸市上本郷	地上3階	2,414.84	(株)伊藤楽器、 社会福祉法人菊光会(保育施設)	1990.4.27
八千代物流センター	八千代市吉橋	地上3階	19,081.00	三井食品(株) (物流センター)	2000.3.31
五香駅西口第2ビル	松戸市常盤平	地上2階	5,145.80	(株)コナミスポーツクラブ	2000.5.25
薬園台駅ビル	船橋市薬園台	地上3階	2,997.05	(株)千葉銀行、山崎製パン(株)	2000.7.28
元山駅ビル	松戸市五香南	地上3階	1,383.94	(株)三和(スーパーマーケット)	2001.10.31
八柱駅第2ビル	松戸市日暮	地上7階 (一部地下1階)	8,399.90	(株)セブン-イレブン・ジャ パン、(医)松園会(泌尿器科)	2003.10.31
五香駅西口第3ビル	松戸市常盤平	地上5階	941.63	(株)ゼンショー(飲食)、 (株)鳥貴族(焼き鳥専門店)	2004.4.14
北習志野駅前ビル	船橋市習志野台	地上3階 地下1階	5,534.00	(株)プラス(書店)、 (医)成春会(診療所)	2009.1.27
北習志野駅ビル エキタきたなら	船橋市習志野台	地上3階	1,889.38	(株)ハイデイ日高(中華食堂)、(医) デンタルルネサンス(歯科)	2012.7.17
薬園台駅前ビル	船橋市滝台	地上4階	3,370.73	(株)ベストライフ	2015.1.28

\* 2017年10月1日に取得

### 駅ビル・駅前ビル



#### ●津田沼 12 番街ビル

1977 年竣工。2 階公開空地で新津田沼駅と連絡した大型物件です。(株)イトーヨーカ堂に賃貸しており、「イトーヨーカドー津田沼店」として営業しています。



#### ●津田沼 14 番街ビル

1978 年竣工。津田沼 12 番街ビルとともに当社の不動産賃貸事業躍進の基盤となった建物です。現在は(株)ファーストリテイリングに賃貸しており、「ミーナ津田沼」として営業しています。



#### ●新津田沼駐車場ビル

1979 年に竣工した駐車場ビル（収容 894 台）です。本物件と「津田沼 12 番街ビル」「津田沼 14 番街ビル」および新津田沼駅は連絡歩道橋と公開空地で機能的に連絡しています。



#### ●昭和第三ビル

不動産部門における収益源確保の取り組みとして、2017 年 10 月に取得しました。現在、飲食店・診療所・学習塾などのテナントが入居しています。

### 駅ビル・駅前ビル



#### ●薬園台駅ビル

2000年、薬園台駅の移転・橋上化に併せて駅舎と一体で新築した駅ビルです。銀行、物販、診療所、保育所などが入居しています。



#### ●北習志野駅前ビル

2009年竣工。北習志野駅・地元商店街とペデストリアンデッキで結ばれた複合商業ビルです。物販、飲食、診療所などが入居しています。



#### ●北習志野駅ビル（エキタきたなら）

2012年竣工。北習志野駅の隣接地と軌道上空を活用した物件です。物販、飲食、診療所、保育所などが入居しています。「エキタ」とは「駅」+「来た」「楽しい」からの造語で、気軽に寄れる場所をイメージした愛称です。



#### ●元山駅ビル

2001年竣工。3階で元山駅と連絡しており、物販、スーパーマーケットや保育所などが入居しています。



●五香駅西口ビル

1985年に竣工した店舗・事務所ビルです。3階で五香駅と連絡しており、銀行、物販、飲食、学習塾などが入居しています。



●八柱駅第1・第2ビル

第1ビル（手前）は1985年に、第2ビル（奥）は2003年に竣工しました。3階で八柱駅と連絡しており、物販、飲食、理美容、学習塾、診療所など、多数が入居しています。

高齢者施設



●薬園台駅前ビル

2015年に竣工した当社初の高齢者施設です。(株)ベストライフに賃貸しており、「ベストライフ船橋薬園台」として営業しています。

物流センター



●八千代物流センター

2000年竣工。三井食品(株)に賃貸しており、「IY八千代共配センター」として稼働しています。

### スポーツ施設



#### ●五香駅西口第2ビル

2000年竣工。(株)コナミスポーツクラブに賃貸しており、「コナミスポーツクラブ五香」として営業しています。



#### ●常盤平駅北口ビル

1982年竣工。常盤平駅に隣接したインドアテニスコートです。(株)ダンロップテニススクールに賃貸しており、「ダンロップテニススクール常盤平」として営業しています。



#### ●津田沼19番街ビル

1984年竣工。(株)コナミスポーツクラブに賃貸しており、「コナミスポーツクラブ津田沼」として営業しています。

### ロードサイド施設



#### ●西志津建物

2017年竣工。(株)ケー・アンド・アイに賃貸しており、「天井てんや 志津店」として営業しています。



#### ●三矢小台建物

2018年竣工。(株)ウエストに賃貸しており、「生そばあずま 矢切店」として営業しています。



#### ●常盤平6丁目賃貸借建物

1999年竣工。ウエルシア薬局(株)に賃貸しており、「ウエルシア松戸牧の原店」として営業しています。

chapter 4

# 👤 新京成グループ



主な業種

会社名

バス事業

船橋新京成バス株式会社

松戸新京成バス株式会社

コンビニ業

新京成リテーリングネット株式会社

駐輪場管理業

エスケーサービス株式会社

駐車場管理業

エスピー産業株式会社

ビル管理業

新京成エステート株式会社

広告業

新京成フロンティア企画株式会社

# 船橋新京成バス株式会社、松戸新京成バス株式会社

### バス事業の歴史

当社直営のバス事業は、1949年1月新京成線鉄道未開業線の先行輸送として発足し、鎌ヶ谷大仏～松戸間の営業を開始しました。

以降、特に1960年代から1970年代にかけて沿線各地の団地・住宅開発とともに路線を拡大、利用者数も急増しました。このほか、1979年7月に船橋バス(株)を設立しています。

営業規模の拡大とともにバス車両数も年々増加し、当初設置された鎌ヶ谷営業所から1980年に松戸営業所、1983年に習志野営業所を分離するなど輸送施設の拡充を図りました。

このように営業規模は拡大の一途をたどりましたが、モータリゼーションの進展や、新規鉄道路線の開業、景気の低迷や少子高齢化により輸送人員は年々減少、1989年以降連続して営業損失を計上することとなりました。加え

て2002年2月にはバス事業に係る規制緩和によりさらに厳しい経営環境が続くものと予想されました。

このため抜本的な経営改善に向けて、コスト削減と利用者のニーズに即応できる地域密着型の事業形態とすべく当社全額出資の子会社に事業譲渡し、機動的かつ効率的な事業運営を行うことで公共交通機関としての役割を果たしていくべきものと考えました。

これにより、2003年4月28日付で船橋新京成バス、習志野新京成バス、松戸新京成バスを設立し、同年10月1日に当社のバス事業を各子会社に営業譲渡しました。

また、近年のバス事業を取り巻く事業環境に対応するため、2014年4月16日付で船橋新京成バスと習志野新京成バスを合併しました（存続会社：船橋新京成バス）。



開業当初のボンネットバス車両 D153  
タクアンバスの愛称で親しまれた



1987年に導入し約15年間の間活躍した日産バス  
(PV-32L型)



## 営業の状況

2003年10月より独立したバス各社では、路線再編成のほか新規路線の運行を開始するなど、さらなる利便性の向上ならびに効率的な乗合バス事業の運営に努めています。

また、2013年4月16日から船橋新京成バスが新橋駅発の深夜急行バスの運行を開始し、新たな需要の開拓に取り組んでいます。

このほか企業、学生輸送など貸切・特定輸送を受注するなど、収入基盤の確保に努めています。

また、高齢者向け乗り放題定期券「プラチナパス等」や学生向け乗り放題定期券「BUS通楽」を発売するなど高齢者・学生の利用促進および利便性の向上を図っています。

サービス面の拡充として、バス3社では2008年9月から10月にかけてICカード乗車券「PASMO」を導入したほか、2012年2月からはお客さまの携帯電話やパソコンからリアルタイムのバス運行状況が閲覧可能となる新バスロケーションシステム（Bus-Vision）のサービスを開始し、スマートフォン画面用にレイアウトをデザインした「Bus-Visionスマートフォン版」のサービスを2013年5月より開始しました。このほか、松戸新京成バスでは2017年2月から、船橋新京成バスでは2018年4月から全てのお客さまにバスをより分かりやすく安心してご利用いただくことを目的として、バス停ナンバリングを導入しました。



船橋新京成バス（鎌ヶ谷営業所）



船橋新京成バス（習志野営業所）



松戸新京成バス

## バス事業

会社名	船橋新京成バス株式会社	松戸新京成バス株式会社
所在地	〒 273-0105 千葉県鎌ヶ谷市 鎌ヶ谷一丁目 8 番 2 号	〒 270-2221 千葉県松戸市 紙敷 96 番地の 36
電話番号	047-443-2035	047-387-0388
FAX 番号	047-446-5966	047-389-8624
代表取締役社長	足原 潤一	原 一彰
従業員数 (嘱託等含む) *	337 人	207 人
営業キロ	209.58km	73.74km
路線数	27 路線	13 路線
総車両数	165 両	105 両
1 日平均実車走行キロ	14,065km	8,711km
1 日平均輸送人員	46,039 人	33,782 人
1 日平均旅客運送収入	7,241 千円	5,117 千円

\* 社長除く

### 乗合バス車両数

2018年3月31日現在の乗合バス車両数は船橋新京成バスが148両、松戸新京成バスが98両となっています。

また車両の代替新造の際には、高齢者や車いす旅客ならびに環境問題に配慮したアイドリングストップ機能付きノンステップバスもしくはワンステッ

プバス車両を導入しています。2017年度にはバス2社で19両の代替新造を行いました。

この結果、100%の車両が車いす用スロープ板などを装備したバリアフリー化対応となっています（深夜急行バスを除く）。



吊り革が黄色に変更された優先席付近



スロープ板やニーリング機能\*の付いたワンステップバス  
\*車高調整機能

2017年度末 (バス各社計)	車両数		代替新造・増車数		
			代替新造	増車	合計
内訳	合計	246 両	15 両	4 両	19 両
	ノンステップ	140 両	14 両	4 両	18 両
	ワンステップ	103 両	0 両	0 両	0 両
	ツーステップ	3 両	1 両	0 両	1 両

## 貸切バス車両数

2018年3月31日現在の貸切バス車両数は船橋新京成バスが12両、松戸新京成バスが4両となっています。

乗合バス車両同様、それぞれの会社ごとのボディデザインを採用しているほか、京成グループバス統一カラーの車両も各社で採用しています。

2017年度には船橋新京成バス習志野営業所の中型車両を1両新造代替しました。車種のラインナップとしてはマイクロバスをはじめ観光バスタイプや乗合車両タイプなど、お客さまのニーズに合わせた車両の展開をしています。



大型車両



中型車両



小型車両

	車 両 数		代替新造・増車数			
			代替新造	増 車	合 計	
2017年度末 (バス各社計)	合 計	16両	1両	0両	1両	
	内 訳	大 型	6両	0両	0両	0両
		中 型	6両	1両	0両	1両
		小 型	4両	0両	0両	0両

## 貸切バス事業者安全性評価認定制度

新京成グループバス2社では、貸切バス事業において輸送の安全に対する社会的要請が近年ますます強まっているなか、安定した受注の獲得を目指すため、2013年度に日本バス協会の「貸切バス事業者安全性評価認定制度」一ツ星の認定を取得、2017年度には松戸新京成バスにおいて三ツ星を取得しました。

これからも引き続き輸送の安全の一層の強化を図ってまいります。



安全性評価認定マーク

## 旅客運賃表

2014年4月1日改定

### 普通旅客運賃

### 定期旅客運賃

普通旅客運賃		定期旅客運賃			
基準運賃	32円30銭	通勤定期		通学定期	
最低運賃 (大人)	現金 160円 IC 154円	1ヵ月	3ヵ月	1ヵ月	3ヵ月
最低運賃 (小人)	現金 80円 IC 77円				
現金運賃	IC運賃				
160	154	6,750	19,240	5,400	15,390
170	165	7,200	20,520	5,760	16,420
180	175	7,650	21,800	6,120	17,440
190	186	8,100	23,090	6,480	18,470
200	195	8,550	24,370	6,840	19,490
210	206	9,000	25,650	7,200	20,520
220	216	9,450	26,930	7,560	21,550
230	227	9,900	28,220	7,920	22,570
240	238	10,350	29,500	8,280	23,600
250	247	10,800	30,780	8,640	24,620
260	258	11,250	32,060	9,000	25,650
270	268	11,700	33,350	9,360	26,680
280	279	12,150	34,630	9,720	27,700
290	288	12,600	35,910	10,080	28,730
300	299	13,050	37,190	10,440	29,750
310	309	13,500	38,480	10,800	30,780
320	320	13,950	39,760	11,160	31,810
330	329	14,400	41,040	11,520	32,830
340	340	14,850	42,320	11,880	33,860
350	350	15,300	43,610	12,240	34,880
360	360	15,750	44,890	12,600	35,910
370	370	16,200	46,170	12,960	36,940
380	380	16,650	47,450	13,320	37,960
390	390	17,100	48,740	13,680	38,990
400	400	17,550	50,020	14,040	40,010
410	410	18,000	51,300	14,400	41,040

※定期旅客運賃は現金運賃を基準としております。

(単位：円)

※IC定期券の取り扱いはございません。

### 定期券発売日

#### ▶新規ご購入

使用開始日の1週間前から発売します。

#### ▶継続のご購入

期限満了日の2週間前から旧券と引き換えに発売いたします。

### ▶通学定期券

新規購入時、新学年度（毎年4月）は通学証明書または身分証明書（学生証）が必要です。また、継続購入時に旧券と引き換えに発売いたします。ただし、春休み・夏休み・冬休み等で15日間以上期間が空いた場合は、身分証明書（学生証）が必要です。

## 環境（エコ）定期券制度

通勤定期券をお持ちの方と一緒にバスをご利用いただきますと、同伴の方も運賃が安くなる環境（エコ）定期券制度を千葉県で初めて導入いたしました。

### 環境（エコ）定期券とは…

環境（エコ）定期券という書式の定期券はありません。一定の条件下で、通勤定期券を環境（エコ）定期券と読み替えて取扱いをするもので、特に、土曜・休日にマイカーをご利用なさる方々などに、安い運賃でバスをご利用していただくことで通行車両の減少による駅周辺などの交通渋滞の緩和、および排気ガスの抑制などを図り、環境の保全に努めようとするともに、バスの普及を図ろうとする制度です。

### 取扱対象日

土曜日・日曜日・祝日  
8月13日～8月15日（お盆）  
12月30日～1月3日（年末年始）

### 取扱旅客

通勤定期券所有者および同伴する旅客とし、旅客の範囲は通勤定期券所有者と同居する父母、祖父母、配偶者、兄弟姉妹、子供、孫です。

### 取扱路線

新京成グループバス2社の一般路線  
\*ただし、高速バス、深夜急行バス、コミュニティバス等を除きます。

### 運賃

現金での乗車となります。

	券面表示区間内	券面表示区間以外
通勤定期券所持者	—	100円
同伴同居旅客（大人）	100円	100円
同伴同居旅客（子供）	50円	50円

## ノーカー・アシスト優待証

新京成グループバス2社を含む京成グループのバス会社では、70歳以上の運転免許返納者を対象に、全路線バスの

運賃が現金でのご利用の場合、半額となる優待証「ノーカー・アシスト優待証（免許返納者割引証）」を発行しています。

## バス事業

### 高齢者支援定期券

#### 新京成グループバス 2 社乗り放題

※ 新京成グループバス 2 社全線（特定路線、高速バス、深夜急行バス、コミュニティバス等を除く）乗り放題定期券（深夜バスをご利用の際は割増分の運賃をお支払いください）

新京成プラチナバス (70 歳以上のお客さま)	
一年定期	28,800 円
半年定期	15,400 円

新京成プラチナ 65 (65 歳以上 70 歳未満のお客さま)	
半年定期	30,900 円

新京成プラチナ 60 (60 歳以上 65 歳未満のお客さま)	
半年定期	41,100 円

#### 京成グループバス乗り放題

※ 京成グループバス 14 社全線（特定路線、高速バス・深夜急行バスなど座席定員制のバスを除く）乗り放題定期券（深夜バスをご利用の際は割増分の運賃をお支払いください）

ダイヤモンドバス (70 歳以上のお客さま)	
一年定期	41,100 円
半年定期	22,600 円

ダイヤモンド 65 (65 歳以上 70 歳未満のお客さま)	
一年定期	72,000 円

京成グループバス路線全線（船橋新京成バス、松戸新京成バス、京成バス、千葉中央バス、千葉海浜交通、千葉内陸バス、東京ベイシティ交通、ちばフラワーバス、ちばレインボーバス、ちばシティバス、ちばグリーンバス、京成タウンバス、京成トランジットバス、京成バスシステム）ただし、京成タウンバスの金町三郷線、各社の高速バス・深夜急行バス・マイタウンダイレクトバスなどの座席定員制のバス、一部の路線バス・コミュニティバスではご利用いただけません。

#### 有効期間および発売日

※ご購入の際には、健康保険証・運転免許証など年齢の確認ができるものおよび証明写真（上半身・縦 4.5cm×横 3.5cmパスポートサイズ）が必要です。

	有効期間	金額	発売期間
1 年定期	1 月 1 日～12 月 31 日	上記を ご参照 ください	12 月 16 日～1 月 31 日
半年定期	1 月 1 日～6 月 30 日		
半年定期	7 月 1 日～12 月 31 日		6 月 16 日～7 月 31 日

### 学生支援定期券 BUS 通案（つうがく）

#### 新京成バス 2 社乗り放題

小学生、中学生、高校生、大学生を対象にした新京成グループのバス 2 社全線乗り放題（特定路線、高速バス、深夜急行バス、コミュニティバス等を除く）定期券です。（深夜バスをご利用の際は割増分の運賃をお支払いください）

#### 有効期間および発売日

	有効期間	価格 ※小学生は半額	発売期間
1 年	4 月 1 日～翌 3 月 31 日	59,700 円	毎年 3 月 25 日～4 月 30 日
1 学期	4 月 1 日～7 月 31 日	20,600 円	毎年 3 月 25 日～4 月 30 日
2 学期	9 月 1 日～12 月 31 日	20,600 円	毎年 8 月 25 日～9 月 30 日
3 学期	1 月 1 日～3 月 31 日	15,400 円	毎年 12 月 25 日～1 月 31 日

※ご購入の際には、学生証または通学証明書をお持ちください。また、1 年定期券をお買い求めの場合は証明写真（上半身・縦 4.5cm×横 3.5cmパスポートサイズ）をお持ちください。

※新学期など学生証または通学証明書がない場合は発売することができません。

※定期券の購入は、該当する路線の営業所の定期券発売所にてお買い求めください。

## 船橋新京成バス

鎌ヶ谷営業所	所在地	〒 273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷 1-8-2
	TEL	047-443-2035
	最寄バス停	鎌ヶ谷大仏
	定期発売時間	平日 14:00 ~ 19:00/ 土休 13:00 ~ 17:30

習志野営業所	所在地	〒 274-0071 船橋市習志野 4-16-20
	TEL	047-466-0525
	最寄バス停	習志野車庫
	定期発売時間	7:30 ~ 12:00 と 15:00 ~ 19:00 (毎日)

船橋駅北口バス案内所	所在地	〒 273-0005 船橋市本町 7-2
	最寄バス停	船橋駅北口
	定期発売時間	平日 7:30 ~ 20:00、土曜 7:30 ~ 19:00、休日 9:00 ~ 18:00 (年末年始を除く)

津田沼駅発売所	所在地	〒 275-0016 習志野市津田沼 1-1
	最寄バス停	津田沼駅
	定期発売時間	11:00 ~ 20:00 (休日を除く)

北習志野発売所	所在地	〒 274-0063 船橋市習志野台 3-1
	最寄バス停	北習志野駅
	定期発売時間	15:00 ~ 20:00 (休日を除く)

## 松戸新京成バス

松戸営業所	所在地	〒 270-2221 松戸市紙敷 96-36
	TEL	047-387-0388
	最寄バス停	紙敷車庫
	定期発売時間	7:30 ~ 12:00 と 15:00 ~ 19:00 (毎日)

小金原バス案内所	所在地	〒 270-0021 松戸市小金原 6-3
	TEL	047-341-3069
	最寄バス停	バス案内所
	定期発売時間	9:30 ~ 12:00 と 13:00 ~ 19:00 (年末年始は時間変更あり)

松戸駅東口発売所	所在地	〒 271-0092 松戸市松戸 1239
	最寄バス停	松戸駅東口
	定期発売時間	11:00 ~ 20:00 (休日・年末年始を除く)

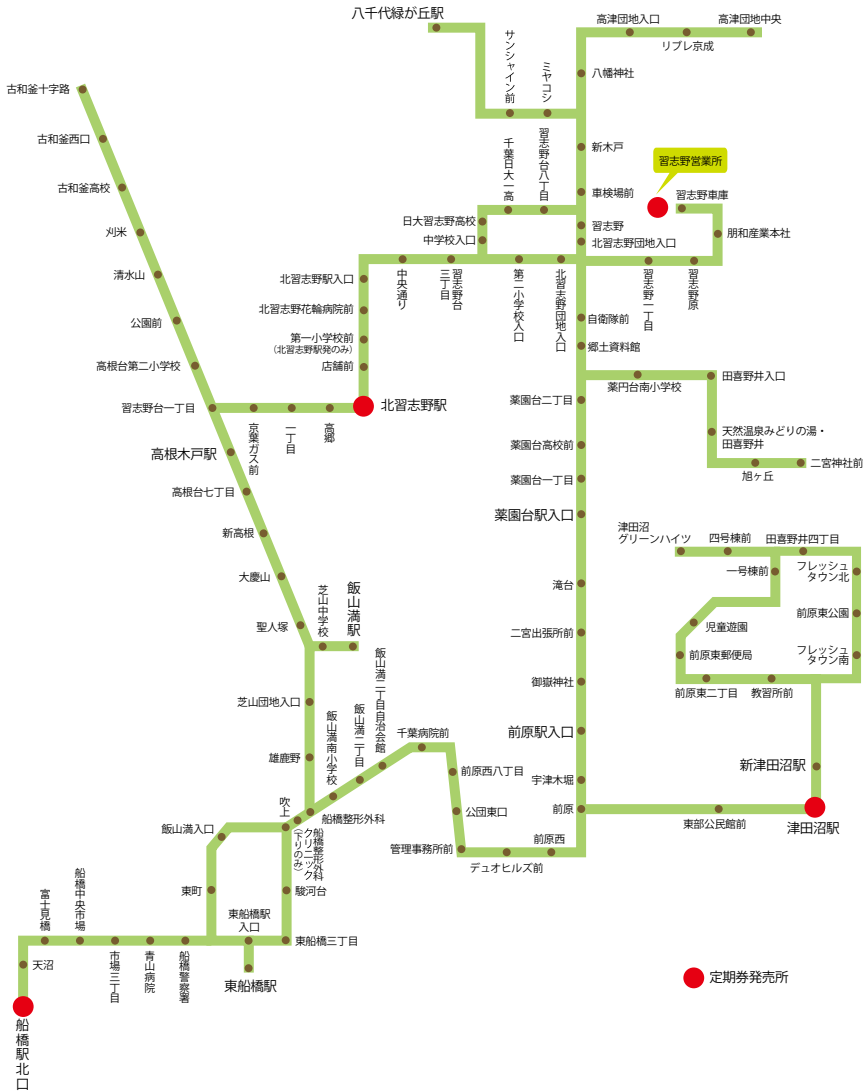




# 船橋新京成バス習志野営業所路線図

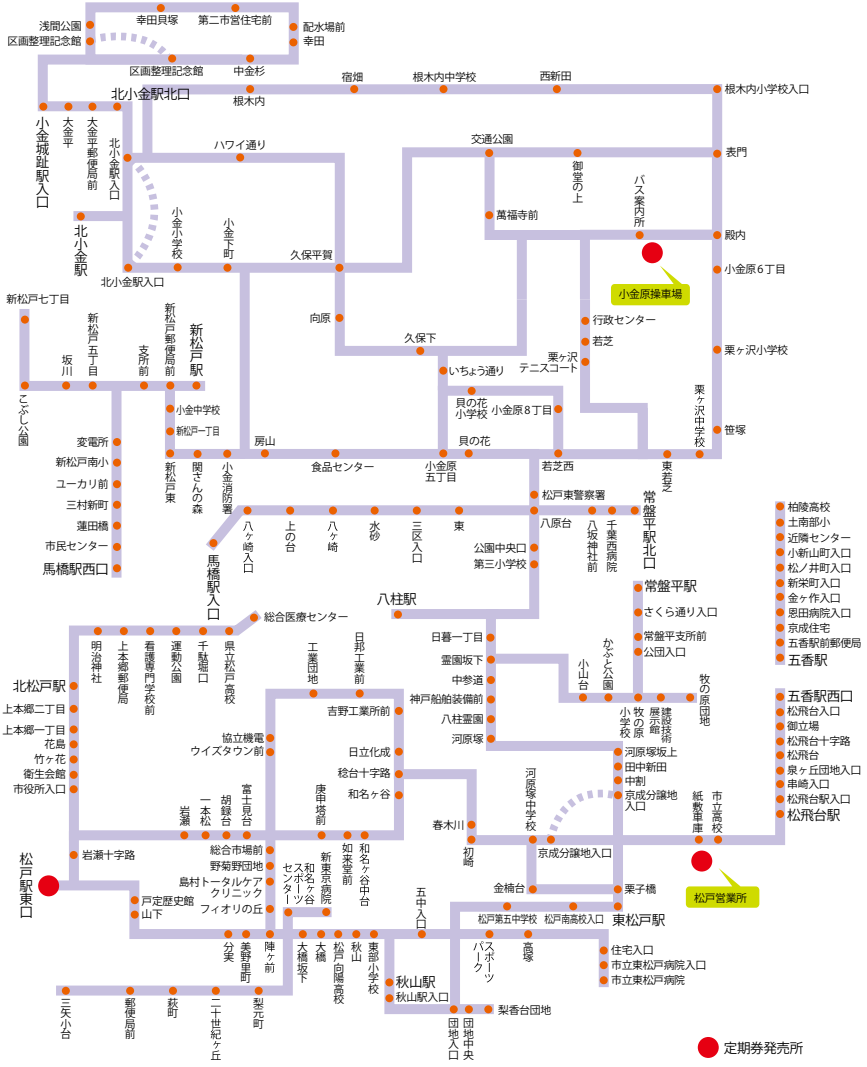
(2018年4月1日現在)

■ 会社概要  
■ 鉄道事業  
■ 不動産事業  
■ 新京成グループ  
■ 資料



## 松戸新京成バス松戸営業所路線図

(2018年4月1日現在)



## 新京成リテーリングネット株式会社



セブン-イレブン新京成 ST 五香店

所在地：〒 274-0065  
千葉県船橋市高根台  
一丁目 6 番 2 号  
TEL：047-467-9081  
FAX：047-465-1999  
設立：1974 年 3 月 20 日  
代表取締役社長：富田 裕也  
従業員：16 人



オープン型宅配便ロッカー  
(PUDO ステーション)

セブン-イレブン店舗の運営、自動販売機やコインロッカー、宅配便ロッカーの設置、臨時売店スペースの貸出しなど、小売業に特化したサービスを展開しています。

セブン-イレブン店舗では、おにぎりやサンドイッチ、お惣菜から日用品まで幅広い商品がご購入いただける他、公共料金のお支払いや ATM などのサービスもご利用いただけます。

また、宅配便ロッカーでは、お客さまのご都合に合わせて宅配便が受け取れるサービスを提供するなど、新京成線をご利用のお客さまや、周辺にお住まいの方々のライフラインとして、住みやすく利便性の高い街づくりを目指しています。

### セブン-イレブン店舗一覧

店舗名	電話番号
新京成ST新津田沼店	047-477-3703
新京成ST新津田沼改札内店	047-471-0909
新京成ST高根公団店	047-467-7310
新京成ST三咲店	047-449-7325
新京成ST鎌ヶ谷大仏店	047-442-7725
新京成ST元山店	047-385-1526
新京成ST五香店	047-389-5337
新京成ST常盤平店	047-386-0091
新京成ST八柱店	047-387-7210
新京成ST八柱北口店	047-311-5226

### 宅配便ロッカー設置場所一覧

設置場所
新津田沼駅コンコース
薬園台駅 西口
習志野駅
高根公団コンコース外
三咲駅
くぬぎ山駅 西口
元山駅 東口

## エスケーサービス株式会社



八柱駅前第2駐輪場

無公害でエネルギー効率に優れた自転車は、環境にやさしく日常生活に欠かせないものです。その一方で公共のルールやマナーが遵守されず、歩行者の通行を妨げる駅前周辺等の放置自転車は今なお大きな社

所在地：〒 270-2261  
千葉県松戸市常盤平一丁目 29 番地  
TEL：047-394-7355  
FAX：047-394-7505  
URL：www.sk-s.co.jp  
設立：1999年3月29日  
代表取締役社長：島野 真実  
従業員数：17人

会問題として取り上げられています。

新京成グループでは駅至近の社有地等を活用して自転車等駐輪場を運営・管理し、お客さまの利便性向上を図るとともに放置自転車の解消に向けて取り組んでいます。

### 駐輪場

新津田沼駅前駐輪場

前原駅前駐輪場

習志野駅前駐輪場

北習志野駅前ビル駐輪場

北習志野駅前駐輪場（東口）

北習志野駅前駐輪場（西口）

高根木戸駅前第1駐輪場

高根木戸駅前第2駐輪場

高根公園駅前駐輪場

滝不動駅前駐輪場

三咲駅前第1駐輪場

三咲駅前第2駐輪場

三咲駅前第3駐輪場

二和向台駅前駐輪場

鎌ヶ谷大仏駅前駐輪場

初富駅前駐輪場

### 駐輪場

新鎌ヶ谷駅前駐輪場

北初富駅前駐輪場

元山駅前駐輪場（南口）

元山駅前第1駐輪場（北口）

元山駅前第2駐輪場（北口）

五香駅前駐輪場（東口）

五香駅前駐輪場（西口）

常盤平駅前駐輪場

八柱駅前駐輪場

八柱駅前第2駐輪場

上本郷駅前駐輪場

大町駅前駐輪場

東松戸駅前駐輪場

東松戸駅前第2駐輪場

秋山駅前駐輪場

## エスピー産業株式会社



新津田沼駐車場ビル

所在地：〒 270-2261  
千葉県松戸市常盤平一丁目 29 番地  
TEL：047-311-7791  
FAX：047-311-7793  
URL：sp-parking.com/  
設立：2000年7月19日  
代表取締役社長：飯塚 良平  
従業員数：23人

新京成の駐車場事業は 1979 年に当時としては県下随一の規模の「新津田沼駐車場ビル」(894 台収容)を開業したことにより本格的に始まりました。

駅ビルのお客さまを主な対象とするこの駐車場を事業の柱として沿線社有地の有効活用を図るため、各地で月極駐車場や時間貸コインパーキングを展開しています。

また、2017年5月より月極駐車場の空き区画を利用した予約制時間貸駐車

場の営業を開始しました。

駐車場用地につきましては、社有地だけではなく、一般の土地オーナーさまからの借り上げも行っており、新京成グループが長年培ってきた駐車場管理運営の知識と経験を投入してオーナーさまの安定した資産運用にも寄与しています。



コインパーキング

駐車場名
新津田沼駐車場
エスピーパーク津田沼
昭和第三ビル駐車場
北習志野駅前ビル駐車場
エスピーパーク高根公園
雄鹿野駐車場
習志野台1丁目駐車場
エスピーパーク三咲駅前
鎌ヶ谷大仏駐車場
エスピーパーク鎌ヶ谷
エスピーパークくぬぎ山駅

駐車場名
エスピーパーク五香東
エスピーパーク五香
五香駐車場
金ヶ作駐車場
南岡駐車場
エスピーパーク常盤平第1
エスピーパーク日暮
エスピーパークみのり台
上本郷駅前駐車場
上本郷駐車場

※このほか、エスピーパーク千駄堀・習志野四丁目（一括貸）各駐車場も運営しています。

## 新京成エステート株式会社



レンタル納戸外観

所在地：〒 270-2261  
 千葉県松戸市常盤平五丁目 19 番地 1  
 TEL：047-311-2650  
 FAX：047-311-2651  
 URL：www.skgroup.jp  
 設立：2000年10月30日  
 代表取締役社長：渋谷直  
 従業員数：9人

### ビル管理

新京成の駅ビルや賃貸施設の日常管理・修繕から運営までトータルにサポートしています。駅ビルなどの施設利用の皆さまに質の高いサービスによる安全・安心・快適な空間のご提供を行うことで、新京成グループの不動産事業に貢献していきます。



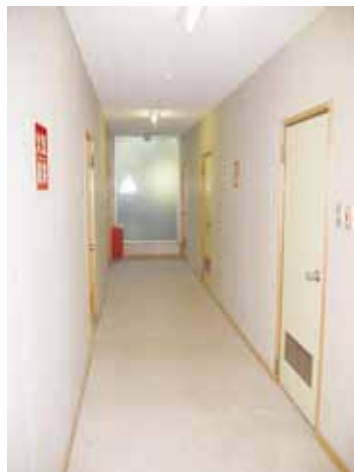
ビル管理	テナント管理
設備点検 修繕工事	入金管理 テナント誘致

### レンタル納戸

レンタル納戸はお客さまがご自由にお使いいただける貸し収納スペースです。今すぐには使わない季節レジャー用品や家財道具等を収納するのに適しています。

レンタル納戸(愛称:レナンド)を現在4カ所309室展開しています。カードキーによるオートロック、機械警備を装備した建物タイプ(利用時間:午前6:00~午後10:00)と24時間出し入れ可能な物置タイプがあり、用途に合わせてお選びいただけます。

名称	タイプ
レナンド二宮	建物タイプ
レナンド五香	建物タイプ
レナンド吉井	建物タイプ
レナンド薬園台	物置タイプ



レンタル納戸棟内部

## 新京成フロンティア企画株式会社



ラッピング電車

所在地：〒 270-2261  
千葉県松戸市常盤平五丁目 19 番地 1  
TEL：047-311-8111  
FAX：047-311-8114  
URL：shinkeisei-frontier.co.jp/  
設立：2000年10月30日  
代表取締役社長：鎌倉 伸一  
従業員：8人

### 広告事業

大型ディスプレイのデジタルサイネージをはじめとする新京成の駅構内広告や電車・バス車両等を媒体とした交通広告事業を展開しています。特に、電車やバスの車体に大きくプリントされたラッピング広告は、ご利用されるお客さま以外にも通行する人々にPRできることから、宣伝効果が期待できる媒体となっています。



デジタルサイネージ

### イベント事業

四季を通して開催される新京成電鉄の各種イベントを中心に、日常生活に刺激を与えるパフォーマンスを展開。地域の特性を生かした参加・体験型イベントを実施し、安らぎと癒しの空間を創出させ、魅力ある街づくりの一助として沿線地域に貢献しています。



聖徳大学コンサート

### 新京成ドッグラン松戸

松戸市高塚新田に位置する「新京成ドッグラン松戸」は、国内最大級の広さを誇り、70台収容可能な無料駐車場も完備しています。愛犬家の方々がいつも安心して利用いただけるよう、小型犬・中型犬・大型犬の3エリアと夏季にも涼しい自然エリアを用意しています。



新京成ドッグラン松戸

〒 270-2222 千葉県松戸市高塚新田 18-5 TEL 047-312-8808  
営業日：年中無休（雨天／年末年始は除く） 営業時間：9:00～17:00（夏季時間あり）  
利用料金：平日／800円（1頭） 土日祝／1,000円（1頭）※2頭目以降は半額

## 年表

## 1946(昭和21)年

- 6.15 津田沼～松戸間地方鉄道敷設免許申請
- 8.8 地方鉄道敷設免許
- 10.18 創立総会 於東京 京成電鉄株式会社  
商号 新京成電鉄株式会社  
本社 東京都下谷区五条町3番地  
資本金 1,000万円  
決算期 毎年6月、12月  
取締役社長 吉田秀彌
- 10.23 会社設立登記

## 1947(昭和22)年

- 12.27 新津田沼(初代)～薬園台間2.5キロ単線営業開始

## 1948(昭和23)年

- 3.26 本社を千葉県千葉郡二宮町前原230番地へ移転
- 7.23 定款変更(事業目的:自動車事業、不動産事業を追加)
- 8.26 薬園台～滝不動間4.1キロ単線営業開始
- 10.8 資本金2,000万円(増資1,000万円)  
習志野駅、高根木戸駅開業
- 12.13 前原駅開業

## 1949(昭和24)年

- 1.8 滝不動～鎌ヶ谷大仏間3.1キロ単線営業開始
- 1.21 バス事業営業開始(鎌ヶ谷大仏～松戸間16.2キロ)  
鎌ヶ谷バス営業所新設
- 3.16 二和向台駅開業
- 10.7 鎌ヶ谷大仏～鎌ヶ谷初富間2.1キロ単線営業開始

## 1950(昭和25)年

- 7.29 定款変更(決算期:毎年3月、9月に変更)

## 1953(昭和28)年

- 5.25 資本金6,000万円(増資4,000万円)
- 8.1 路線バス営業開始(夏見線、船橋市内循環線)

- 8.1 本社所在地の住居表示変更  
(新)千葉県船橋市前原230番地

## 8.17 株式会社店頭公開

## 10.21 京成線連絡のための改軌工事

(軌間1,067ミリから1,372ミリに変更)

## 11.1 新津田沼駅移転(二代目)

前原～京成津田沼間2.3キロ単線営業開始  
京成線と連絡運輸開始

## 1955(昭和30)年

- 1.1 本社所在地の住居表示変更  
(新)千葉県船橋市前原町2丁目230番地

## 2.8 宅地建物取引業の登録

## 3.1 五香変電所新設

- 4.1 鎌ヶ谷初富駅移転に伴い初富駅に名称変更

## 4.20 全線単線開通記念式典

- 4.21 初富～松戸間13.3キロ単線営業開始  
(全線単線開通)

国鉄(現JR)線と連絡運輸開始

## 7.7 資本金1億2,000万円(増資6,000万円)

- 11.16 取締役社長吉田秀彌死去  
専務取締役北條一郎が代表取締役に就任

- 12.20 取締役会長に大山秀雄就任  
取締役社長に北條一郎就任

## 1957(昭和32)年

- 10.15 京成津田沼駅5番線の使用を開始

## 1959(昭和34)年

- 8.18 改軌工事(軌間1,372ミリから1,435ミリに変更)

- 10.15 国鉄(現JR)船橋駅北口バス案内所新設

## 1960(昭和35)年

- 2.1 金ヶ作駅を常盤平駅に名称変更

## 1961(昭和36)年

- 7.1 新津田沼駅を藤崎台駅に名称変更



- 8.1 高根公団駅開業
- 8.23 新津田沼駅移転(三代目)  
前原～新津田沼間1.2キロ単線営業開始
- 10.2 東京証券取引所へ株式上場(第二部)
- 11.25 松戸～八柱間3.8キロ複線営業開始
- 12.15 習志野バス操車場新設

**1962(昭和37)年**

- 8.21 八柱～五香間3.6キロ複線営業開始
- 10.16 初のワンマンバス運行開始(常盤平線)

**1963(昭和38)年**

- 10.26 前原～高根公団間4.4キロ複線営業開始

**1964(昭和39)年**

- 8.12 高根公団～鎌ヶ谷大仏間4.1キロ複線営業開始
- 11.21 取締役社長に福田郁次郎就任
- 12.1 乗車券自動発売機(券売機)をみのり台、五香、高根木戸、新津田沼に設置

**1965(昭和40)年**

- 2.13 二和変電所新設
- 6.29 五香～くぬぎ山間2.2キロ複線営業開始

**1966(昭和41)年**

- 4.11 北習志野駅開業(初の橋上化)
- 7.16 五香バス操車場新設

**1967(昭和42)年**

- 11.15 本社を千葉県習志野市津田沼1丁目510番地へ移転

**1968(昭和43)年**

- 5.15 新津田沼駅移転(四代目・現在地)、藤崎台駅廃止  
新津田沼～前原間1.4キロ複線営業開始
- 8.11 五香駅橋上化
- 9.22 北習志野バス操車場新設
- 12.1 列車一部6両編成運転開始

**1969(昭和44)年**

- 8.20 小金原バス操車場新設
- 12.18 前原変電所新設

**1970(昭和45)年**

- 11.28 株式初配当実施(年7分)

**1971(昭和46)年**

- 2.6 新京成タクシー(株)設立
- 3.30 800形新造車両第1次車4両導入
- 5.28 株式配当金増配(年8分)

- 9.12 マンション分譲営業開始(菓園台ハイツ)
- 10.19 上本郷変電所新設
- 12.20 松戸駅橋上化

**1972(昭和47)年**

- 2.5 800形新造車両第2次車6両導入
- 4.1 資本金2億4,000万円(増資1億2,000万円)
- 11.28 取締役会長に川崎千春就任

**1973(昭和48)年**

- 3.26 800形新造車両第3次車8両導入
- 8.20 常盤平駅ビル竣工
- 12.7 常盤平駅橋上化

**1974(昭和49)年**

- 1.16 800形新造車両第4次車8両導入
- 3.16 資本金5億円(増資2億6,000万円)
- 3.20 下総緑地(株)設立
- 12.27 深夜バス運行を開始(金杉台線)

**1975(昭和50)年**

- 2.7 くぬぎ山～鎌ヶ谷大仏間5.8キロ複線営業開始(松戸～新津田沼間複線)
- 3.30 800形新造車両第5次車6両導入
- 5.29 定款変更(決算期:年1回3月に変更)
- 6.25 三矢小台ビル竣工
- 7.31 津田沼10番街ビル竣工
- 8.27 くぬぎ山駅橋上化
- 9.17 袖ヶ浦実業(株)設立
- 10.30 くぬぎ山車両基地竣工
- 11.1 五香車両基地及び乗務区をくぬぎ山に移転  
全ダイヤ6両編成運転開始
- 12.1 800形新造車両第6次車4両導入

**1976(昭和51)年**

- 7.1 高根公団駅橋上化
- 7.2 高根公団駅ビル竣工
- 12.1 高根公団第2ビル竣工

**1977(昭和52)年**

- 3.31 芝山バス操車場新設
- 4.1 資本金7億5,000万円(増資2億5,000万円)
- 4.2 松戸駅ビル出改札所(駅ビル北口)委託により業務開始
- 6.24 定款変更(事業目的:駐車場の経営を追加)

## 年表

- 8.2 本社新社屋竣工
- 8.8 本社を千葉県鎌ヶ谷市初富16番の16に移転
- 9.4 新津田沼駅橋上化
- 10.20 津田沼12番街ビル竣工

### 1978(昭和53)年

- 1.31 津田沼14番街ビル竣工
- 2.1 新京成電鉄株式会社「30年史」発行
- 10.2 国鉄(現JR)武蔵野線(新松戸～西船橋間)営業開始
- 11.15 8000形新造車両第1次車6両導入
- 12.25 社内報創刊号発行

### 1979(昭和54)年

- 1.16 新京成車輛工業(株)設立
- 3.7 自動列車停止装置(ATIS)使用開始
- 3.9 北総開発鉄道(現:北総鉄道)営業開始・連絡運輸開始(松戸～小室間相互直通運転)
- 4.5 新津田沼駐車場(株)設立  
くぬぎ山車両検修場竣工
- 5.16 八柱駅橋上化
- 5.31 新津田沼駐車場ビル竣工
- 7.25 船橋バス(株)設立
- 11.29 8000形新造車両第2次車6両導入
- 12.18 事故復旧機械(西ドイツ製)導入

### 1980(昭和55)年

- 2.1 東習志野バス操車場営業開始(習志野操車場及び北習志野操車場廃止)
- 3.15 松戸バス営業所営業開始(五香操車場廃止)
- 3.19 高根木戸駅前店舗竣工
- 11.30 五香駅東口ビル竣工

### 1981(昭和56)年

- 3.16 前原駅跨線橋化
- 3.31 松戸新田駅跨線橋化
- 6.22 8000形新造車両第3次車6両導入
- 7.1 元山駅橋上化
- 8.11 下総緑地(株)を下総興業(株)に変更
- 12.15 株式配当金増配(年9分)

### 1982(昭和57)年

- 3.29 冷房装置及び大型方向幕取付けバス導入
- 3.31 くぬぎ山車両基地拡張

- 5.25 常盤平駅北口ビル竣工
- 6.1 資本金10億円(増資2億5,000万円)
- 7.13 8000形新造車両第4次車6両導入
- 10.1 8両編成運転開始
- 10.6 みのり台駅跨線橋化

### 1983(昭和58)年

- 3.17 バスロケーションシステム導入(船橋駅北口)
- 5.28 前原駅駅舎新築
- 6.1 列車無線(SR)使用開始
- 6.16 豊富自動車整備工場操業開始  
東習志野バス操車場を鎌ヶ谷営業所より分離、習志野営業所となる
- 6.22 8000形新造車両第5次車6両導入
- 12.15 株式配当金増配(年1割)

### 1984(昭和59)年

- 3.4 習志野駅駅舎新築及び跨線橋化
- 3.17 8000形新造車両第6次車6両導入
- 3.19 住宅・都市整備公団線(現:北総鉄道)営業開始・連絡運輸開始(松戸～千葉ニュータウン中央間三者相互直通運転)
- 4.1 高根木戸駅橋上化
- 5.16 資本金10億3,000万円(増資3,000万円)
- 7.13 津田沼19番街ビル竣工
- 9.9 二和向台駅駅舎新築及び跨線橋化
- 11.5 本社所在地の住居表示変更(新)千葉県鎌ヶ谷市くぬぎ山四丁目1番12号

### 1985(昭和60)年

- 1.18 下総興業(株)が袖ヶ浦実業(株)を吸収合併
- 1.24 8000形新造車両第7次車6両導入
- 2.1 会社要覧創刊号発行「85年度版」
- 2.20 八柱駅第1ビル竣工
- 3.20 前原駅前ビル竣工
- 5.25 資本金14億8,000万円(増資4億5,000万円)
- 5.27 新京成タクシー(株)が新津田沼駐車場(株)を吸収合併
- 6.11 800形冷房改造第1次車運転開始
- 6.28 8000形新造車両第8次車6両導入

- 7.1 五香駅西口ビル竣工  
定期券発行機使用開始
- 7.31 二和向台駅前ビル竣工
- 8.27 鎌ヶ谷大仏駅橋上化
- 8.31 鎌ヶ谷大仏駅ビル竣工
- 9.23 8000形新造車両第9次車6両導入

### 1986(昭和61)年

- 1.21 8800形新造車両第1次車8両導入
- 5.16 800形冷房改造第2次車運転開始
- 6.26 取締役会長に福田郁次郎就任  
取締役社長に徳永勝就任

### 1987(昭和62)年

- 2.21 8800形新造車両第2次車8両導入
- 3.16 電話交換機更新(クロスバー交換機→電子交換機)
- 3.28 8800形新造車両第3次車8両導入
- 4.1 京成津田沼～新津田沼間の鉄道施設を京成電鉄から譲受
- 4.5 三咲駅橋上化  
自動改札機導入開始(三咲駅)
- 5.23 資本金31億2,200万円(増資16億4,200万円)
- 5.26 800形冷房改造第3次車運転開始
- 6.29 定款変更(事業目的:広告業、旅行業を追加)
- 7.9 8800形新造車両第4次車8両導入
- 10.21 運輸部において国内旅行業営業開始
- 11.1 列車運行管理システム使用開始
- 12.12 8800形新造車両第5次車8両導入

### 1988(昭和63)年

- 3.3 8800形新造車両第6次車8両導入
- 4.1 滝不動駅橋上化
- 4.4 取締役会長福田郁次郎死去
- 5.21 800形冷房改造第4次車運転開始
- 9.26 第1回1号物上担保付転換社債発行(30億円)
- 10.12 8800形新造車両第7次車8両導入
- 11.29 800形冷房改造第5次車運転開始

### 1989(平成元)年

- 1.31 新デザインバス導入
- 3.8 8800形新造車両第8次車8両導入
- 4.4 800形冷房改造第6次車運転開始

- 6.28 取締役会長に徳永勝就任  
取締役社長に細川春雄就任
- 7.5 上本郷駅橋上化
- 10.2 バスロケーションシステム導入(津田沼駅)
- 11.15 8800形新造車両第9次車8両導入
- 11.19 北初富駅橋上化
- 11.30 800形(2両)冷房完了(8両編成化)

### 1990(平成2)年

- 3.14 8800形新造車両第10次車8両導入
- 4.16 船橋バス営業所新社屋完成
- 4.27 上本郷駅ビル竣工
- 5.26 資本金59億2,017万円(増資27億9,817万円)
- 6.14 バス冷房化100%達成
- 6.21 8800形新造車両第11次車8両導入  
列車冷房化100%達成
- 7.29 200形電車の退役
- 9.1 高圧配電線標準電圧昇圧(3300V→6600V)
- 11.26 JR船橋駅北口バスターミナル完成
- 12.31 資本金59億3,594万円(増資1,577万円)

### 1991(平成3)年

- 2.4 習志野駅前店舗2号店竣工
- 3.31 8800形新造車両第12次車8両導入  
北総開発鉄道2期線営業開始(新鎌ヶ谷～京成高砂間)
- 4.1 第1次中期経営計画スタート
- 6.24 バスワンマン化100%達成

### 1992(平成4)年

- 4.28 みのり台駅駅舎改築竣工
- 6.29 企業広報誌「Ciao」創刊号発行
- 7.8 新鎌ヶ谷駅開業(北総・公団線との相互直通運転廃止)
- 12.10 八柱駅前駐車場営業開始

### 1993(平成5)年

- 3.25 レンタル納戸二宮営業開始
- 3.31 松戸新田駅駅舎改築竣工
- 4.1 自動定期券発売機使用開始(当社初)
- 6.15 トラベルジョイ八柱営業開始
- 9.26 8900形新造車両第1次車8両導入

## 年表

10.7 みのり台駅の壁画完成

### 1994(平成6)年

3.19 松戸駅に専用改札口設置

3.30 レンタル納戸五香営業開始

4.1 第2次中期経営計画スタート

6.28 取締役会長に細川春雄就任

取締役社長に竹内直之就任

9.1 新津田沼駅等8駅で終日禁煙(分煙)を実施

11.15 車輪フラット検出装束使用開始

12.1 電力指令業務自動化運用開始

12.16 バス回数券車内販売開始

### 1995(平成7)年

3.31 北習志野駅前広場完成

バスターミナル監視システム(松戸駅東口バス乗場)使用開始

4.1 SKカード(ストアードフェアシステム)導入

9.26 電車線重架線化完了

11.1 トラベルジョイ北習志野営業開始(海外旅行取扱開始)

### 1996(平成8)年

2.15 鉄道全線終日禁煙・分煙化実施

2.29 8900形新造車両第2次車8両導入

3.28 バス運行情報システム導入(松戸営業所管内)

3.29 保守無線使用開始

4.1 ダイヤ改正。最高速度を75km/hから85km/hに向上。日中は10分間隔の運転に

4.23 車両部「くぬぎ山車両管理所」竣工

4.27 東葉高速鉄道営業開始・連絡運輸開始

6.25 8900形新造車両3次車8両導入

10.1 創立50周年記念式典開催

11.30 北習志野駅前駐車場営業開始

### 1997(平成9)年

2.25 「新京成電鉄社友会」設立

4.1 第3次中期経営計画スタート

5.15 新京成電鉄株式会社「50年史」発刊

7.24 低床式ワンステップバス導入

### 1998(平成10)年

4.1 くぬぎ山車両基地留置線増設(8両1編成分)

4.1 パンタグラフ摩耗チェック新システム導入

5.12 佐倉西志津建物竣工

9.1 新京成プラチナパス(高齢者支援バス定期券)販売開始

10.12 ノンステップバス運行開始

11.14 環境(エコ)定期券新設

11.20 鎌ヶ谷大仏駅が「関東の駅百選」に選定

11.21 戸建分譲の販売開始

### 1999(平成11)年

1.20 バス運行50年記念行事実施

3.1 「バス共通カード」取扱い開始(松戸営業所管内)

3.29 エスケーサービス(株)設立

3.31 大型踏切警報機新設(元山3号踏切)大型踏切警報機新設(三咲1号踏切)

8.2 新京成電鉄ホームページ開設

10.18 豊富自動車整備工場を新京成車輛工業(株)に移管

11.25 東武鉄道新鎌ヶ谷駅開業に伴い連絡運輸開始

12.15 常盤平6丁目建物竣工

### 2000(平成12)年

3.31 八千代物流センター竣工

4.1 バス一般貸切事業へ参入第4次経営計画スタート

5.25 五香駅西口第2ビル竣工

6.3 高圧配電線2回線化(松戸～五香S/S間)

6.28 取締役会長に竹内直之就任取締役社長に梅崎利秋就任

7.19 エスピー産業(株)設立

7.28 菜園台駅ビル竣工

7.29 菜園台駅移転開業

8.1 下総興業(株)が新京成タクシー(株)を吸収合併

9.16 習志野営業所を鎌ヶ谷営業所に統合

9.30 八千代高津ビル竣工

10.14 鉄道共通カードシステム「パスネット」導入

10.30 (有)アドバンス産業、(有)新京成エステート、(有)フロンティア企画設立

## 2001(平成13)年

- 2.26 (有)新京成エステートを新京成エステート(株)に変更
- 3.10 松戸駅の出札所を拡張移転
- 3.29 高圧配電線2回線化(五香S/S～元山12号柱間)
- 3.30 大型踏切警報機新設(五香3号踏切)
  - 6.1 連立工事部新設
- 10.31 元山駅ビル竣工
- 12.15 滝不動駅前ビル竣工
- 12.25 フェアスルー(乗降確認)システム導入  
五香駅ホーム内エスカレーター使用開始

## 2002(平成14)年

- 2.28 一般認定鉄道事業者(鉄道電気施設、車両)に認定
  - 3.1 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定
- 3.26 高圧配電線2回線化(元山12号柱～北初16号柱間)
- 3.28 光ネットワーク運用開始
- 3.29 大型踏切警報機新設(前原3号踏切)  
継電連動装置更新(松戸)
  - 4.1 不動産仲介営業開始(北習志野営業所開設)
- 7.26 車両部門ISO 9001:2000認証取得(登録日)
- 8.21 鎌ヶ谷市内連続立体交差事業着工
- 9.26 松戸駅にのりこし精算機を設置(当社初)
- 9.27 列車無線設備更新
- 9.30 トラベルジョイ(旅行業)営業廃止(八柱営業所は同年6月28日廃止)
- 11.1 忘れ物検索システム導入
- 11.25 電管用主電動機のセンサレス制御実用化と導入開始
- 12.2 新津田沼駅および五香駅西口外階段部エスカレーター使用開始
- 12.10 非常通報装置導入開始(八柱・常盤平・五香・高根公団の各駅)

## 2003(平成15)年

- 3.11 大型踏切警報機新設(前原6号踏切)
- 3.13 高根変電所新設
- 3.20 (有)フロンティア企画をフロンティア企画(株)に変更

- 4.20 「新京成鉄道模型館」営業開始(運営：フロンティア企画(株))
- 4.28 船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)、松戸新京成バス(株)設立
- 5.1 駅構内終日禁煙実施
- 9.30 新津田沼駅北口開設
- 10.1 バス事業分社化  
船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)、松戸新京成バス(株)による営業開始
- 10.31 八柱駅第2ビル竣工
- 12.15 二和向台駅下りホーム内エレベーター、エスカレーター使用開始  
元山駅ホーム内エレベーター使用開始

## 2004(平成16)年

- 2.21 鎌ヶ谷市内連続立体交差事業一部(初富～北初富駅間)仮線切替工事実施
- 3.15 五香駅東口エレベーター使用開始
- 3.31 列車運行管理システム更新
- 4.14 五香駅西口第3ビル竣工
  - 9.1 「ドッグラン松戸」営業開始(運営：フロンティア企画(株))
  - 9.14 五香変電所インバーター設備新設
- 12.10 習志野駅ホーム内、常盤平駅ホーム内外エレベーター使用開始

## 2005(平成17)年

- 2.1 全駅(新鎌ヶ谷駅、京成津田沼駅を除く22駅)に新型マルチ券売機導入
- 4.20 フロンティア企画(株)を新京成フロンティア企画(株)に変更
- 5.29 N800形新造車両第1次車6両導入
- 6.30 主要駅で入金機を導入。収入金は入金機で回収するようになる
- 8.8 「サービス介助士」資格取得駅係員を全駅(新鎌ヶ谷駅、京成津田沼駅を除く22駅)に配置
- 9.30 鉄道用電話交換機更新(本社)
- 12.28 大型踏切警報機新設(薬園台1号踏切)

## 2006(平成18)年

- 2.6 上本郷駅ホームエレベーター、北口エレベーター使用開始
- 3.1 下総興業(株)をスタシオン・セルビス(株)に変更

## 年表

- 3.24 「運転曲線作成システム」導入
- 3.31 光通信(ICカード)新設
- 6.28 取締役会長に梅崎利秋就任  
取締役社長に片岡遼一就任
- 10.1 駅係員、乗務員の制服をデザイン一新
- 10.17 創立60周年記念冊子「鉄道ものしりBOOK」を作成
- 10.31 拠点用防災無線設備新設
- 12.2 京成津田沼5・6番線ホームエレベーター使用開始
- 12.10 京成電鉄千葉線へ乗り入れ開始(松戸～千葉中央間直通運転)  
京成電鉄千葉線への乗り入れに伴うダイヤ改正(No.52ダイヤ)
- 12.26 AED使用開始(松戸駅)
- 12.27 AED使用開始(新津田沼駅)
- 2007(平成19)年**
- 3.17 高根公団駅ホーム内外エレベーター使用開始
- 3.18 ICカード「PASMO」を鉄道で導入、Suica との相互利用開始  
定期券発売窓口(4駅)でクレジットカード「京成カード」の取扱を開始
- 3.22 「乗務員教育ソフト」導入
- 3.29 前原駅東口開設  
継電連動装置更新(新津田沼)
- 3.30 高圧配電線2回線化(前原S/S～京成津田沼間)
- 3.31 鉄道用電話交換機更新(高根木戸)・増設(五香)
  - 7.1 普通手回り品・定期手回り品の制度を廃止
- 10.1 新京成電鉄(株)が船橋バス(株)を吸収合併
- 11.1 「早期地震警報システム」導入
- 12.1 松戸新田駅南口開設  
松戸新田駅、前原駅の遠隔監視開始
- 12.2 ダイヤ修正を実施(No.52-2ダイヤ)
- 2008(平成20)年**
- 1.10 パスネット(SKカード)販売終了
- 1.23 新津田沼駅ホーム内エレベーター使用開始
- 2.27 マルチ券売機で京成カード使用開始(定期券のみ)
- 3.3 8000形VVVF第1次車運転開始
- 3.14 パスネットの改札機での使用終了
- 3.15 連絡定期券の発売範囲拡大  
駅構内の一部飲料自販機でPASMO・Suica の利用開始
- 3.21 くぬぎ山駅エレベーター使用開始
- 3.26 「気象情報監視システム」導入
- 3.28 AED使用開始(八柱駅・五香駅)  
継電連動装置更新(くぬぎ山)
- 9.27 船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)路線バス全線でICカード「PASMO」導入
- 10.17 AED使用開始(高根公団駅)
- 10.25 松戸新京成バス(株)路線バス全線でICカード「PASMO」導入
- 2009(平成21)年**
- 1.27 北習志野駅前ビル竣工
- 2.12 8000形VVVF第2次車運転開始
- 2.14 ダイヤ改正を実施(No.53ダイヤ)(土・休日京成千葉線直通列車増)
- 3.13 前原変電所更新
- 3.19 上本郷駅・松戸新田駅・習志野駅・前原駅で自動精算機使用開始
- 3.27 「ダイヤ作成システム」導入
- 3.29 北習志野駅新駅舎供用開始(バリアフリー化・エレベーター使用開始)  
AED使用開始(北習志野駅)
- 3.30 高圧配電線2回線化(二和S/S～大仏24号柱間)
  - 10.1 ホームページリニューアル
- 11.30 「行路表作成支援システム」導入
- 12.22 年末年始初の企画乗車券「ゆくうしくるとらフリーパス」を発売
- 12.29 高圧配電線2回線化(高根S/S～二和S/S間)
- 2010(平成22)年**
- 2.3 8000形VVVF第3次車運転開始
- 2.22 ぞろ目を記念して「2ならび記念二和向台駅入場券」を発売
- 3.3 鎌ヶ谷大仏駅エレベーター使用開始

- 3.10 期間中任意の3日乗り放題の企画乗車券「乗りトク! さくら満開おでかけきっぷ」発売(以後、大型連休・夏休みなどに「乗りトク! きっぷ」を発売)
- 3.25 AED使用開始(鎌ヶ谷大仏駅)
- 3.26 高圧配電線2回線化(前原S/S~高根S/S間)
- 3.31 非常通報装置全24駅導入完了  
保守無線基地局更新(新鎌ヶ谷)・増設(新津田沼、上本郷)
- 4.1 習志野駅の遠隔監視開始
- 7.16 800形電車の退役(7月24・25日にさよならイベント開催)
- 7.17 成田スカイアクセス開業にあわせダイヤ修正を実施(No.53-2ダイヤ)
- 7.31 「バス共通カード」サービス終了(船橋新京成バス(株)・習志野新京成バス(株)・松戸新京成バス(株))
- 8.27 8000形VVVF第4次車運転開始
  - 9.1 ウェザーニュース社との提携により、気象情報サービス利用開始
- 10.29 AED使用開始(常盤平駅、薬園台駅)
- 11.29 8000形VVVF第5次車運転開始
- 12.15 三咲駅エレベーター、多機能トイレ使用開始

**2011(平成23)年**

- 1.28 N800形新造車両第2次車6両導入
- 2.4 滝不動駅・高根木戸駅エレベーター、多機能トイレ使用開始
- 3.31 みのり台駅スロープ、多機能トイレ、南口改札口使用開始
- 6.16 みのり台駅・滝不動駅の遠隔監視開始
- 11.25 AED使用開始(元山駅)

**2012(平成24)年**

- 1.18 8000形第1次車「しんちゃん電車」の退役(3月3日に「ありがとうしんちゃん電車フェスタ」開催)
- 1.30 八柱駅ホーム内エレベーター使用開始  
二和向台駅上りホーム内エレベーター使用開始

- 2.25 新バスロケーションシステム(Bus-Vision)サービス開始(船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)、松戸新京成バス(株))
- 3.22 上本郷変電所更新
- 4.2 ダイヤ修正を実施(No.53-3ダイヤ)  
陸上自衛隊松戸駐屯地桜並木(元山~くぬぎ山間)ライトアップ実施
- 4.8 「新京成鉄道模型館」営業終了
- 6.16 高根木戸駅の遠隔監視開始
- 6.27 取締役会長に片岡遼一就任  
取締役社長に笠井孝悦就任
- 7.1 新津田沼駅ICカード専用改札機導入(以後、各駅に順次導入)
- 7.8 新鎌ヶ谷駅開業20周年記念券発売
- 7.17 北習志野駅ビル・エキタきたなら竣工
- 8.1 新津田沼駅・北習志野駅でデジタルサイネージ稼働
- 9.2 新京成Presents「千葉ジェッツパフォーマン斯拉イブ」開催
- 9.27 元山駅東口エレベーター使用開始
- 10.1 N800形新造車両第3次車6両導入
- 10.3 千葉ジェッツのラッピング電車「千葉ジェッツストリームトレイン」運行
- 10.21 ダイヤ変更の実施(No.54ダイヤ)
- 11.28 北習志野駅に電車型自動販売機コーナラー設置
- 12.27 開業65周年記念「新京成ファミリー・フェスティバル」開催

**2013(平成25)年**

- 2.2 初富駅付近松戸方面線路(仮上り線)の切替工事実施
- 2.3 初富駅仮上り線ホームエレベーター使用開始
- 2.8 全営業列車がVVVFインバータ制御電車化  
VVVF制御電車100%達成記念乗車券発売
- 3.1 船橋新京成バス(株)深夜バス増便・船橋駅行き早朝便運行開始
- 3.28 千葉ロッテマリーンズのラッピング電車「伊東マリーンズ号」運行

## 年表

- 3.29 五香駅ホーム内エレベーター使用開始
- 4.1 新鎌ヶ谷駅に当社の定期券発売機設置
- 4.16 船橋新京成バス(株)深夜急行バス運行開始
- 4.27 「新京成電鉄×千葉ロッテマリーンズ」スタンプラリー実施
- 8.1 上本郷駅、三咲駅の遠隔監視開始
- 9.19 船橋新京成バス(株)、習志野新京成バス(株)、松戸新京成バス(株)、貸切バス事業者安全性評価認定制度の認定事業者となる
- 10.19 (株)セブン-イレブン・ジャパンと業務提携契約を締結(当社、スタシオン・セルビス(株))
- 12.5 「セブン-イレブン」新京成S T新津田沼店(スタシオン・セルビス(株)フランチャイズ第1号店)オープン

### 2014(平成26)年

- 2.22 北初富駅付近、松戸方面および津田沼方面(仮上下線)の切替工事実施
- 2.23 ダイヤ修正を実施(No.54-2ダイヤ)、北初富仮駅使用開始
- 3.25 運行情報ディスプレイ運用開始
- 4.16 船橋新京成バス(株)が習志野新京成バス(株)を吸収合併
- 5.17 初富駅付近津田沼方面線路(仮下り線)の切替工事実施(全線仮線運行)
- 6.1 シンボルマーク、コーポレートカラーおよびブランドスローガンを制定、使用開始
- 10.4 初富駅仮駅移設工事実施、初富仮駅使用開始
- 11.8 ダイヤ変更を実施(No.55ダイヤ 平日朝ラッシュ時新津田沼～京成津田沼間1往復増発)
- 11.21 松戸駅エレベーター使用開始
- 12.6 デジタルATS使用開始(京成津田沼駅～前原駅間)

### 2015(平成27)年

- 1.28 薬園台駅前ビル竣工
- 2.16 船橋新京成バス(株)船橋行田線運行開始(京成バス(株)と共同運行)

- 2.27 前原変電所～高根変電所間高圧配電線ケーブル化
- 3.16 松戸新京成バス(株)小金原線に新松戸駅発着系統新設
- 4.21 全線開通60周年(記念乗車券、記念nanaco発売)
- 12.5 ダイヤ変更を実施(No.56ダイヤ 平日朝ラッシュ時くぬぎ山～新津田沼間1往復増発)
- 12.19 デジタルATS使用開始(松戸駅・くぬぎ山駅)
- 12.22 N800形新造車両第4次車6両導入
- 12.24 ホームページリニューアル

### 2016(平成28)年

- 2.26 三咲駅前店舗竣工
- 2.29 8800形車両VVVF更新(フルSiC適用)第1次車運転開始
- 3.31 高圧配電線ケーブル化全線完了
- 6.24 電力管理システム更新
- 6.28 代表取締役会長に笠井孝悦就任  
代表取締役社長に眞下幸人就任
- 8.31 エスピー産業(株)ホームページ開設
- 12.16 船橋新京成バス(株)深夜急行バス西船橋駅乗り入れ開始

### 2017(平成29)年

- 1.10 西志津建物竣工
- 2.6 八柱駅駅舎耐震補強工事を実施
- 2.15 松戸新京成バス(株)バス停ナンバリング導入
- 2.24 8800形車両VVVF更新(フルSiC適用)第2次車運転開始(同年より内装リニューアル併施)
- 3.18 デジタルATS使用開始(常盤平駅～松戸駅間)
- 3.30 スタシオン・セルビス(株)「オープン型宅配便ロッカー(PUDOステーション)」サービス開始(元山駅)
- 5.16 エスピー産業(株)月極駐車場の空き区画を利用した「駐車場シェアリング」開始
- 7.1 ふなっしーのラッピング電車「ふなっしートレイン」運行



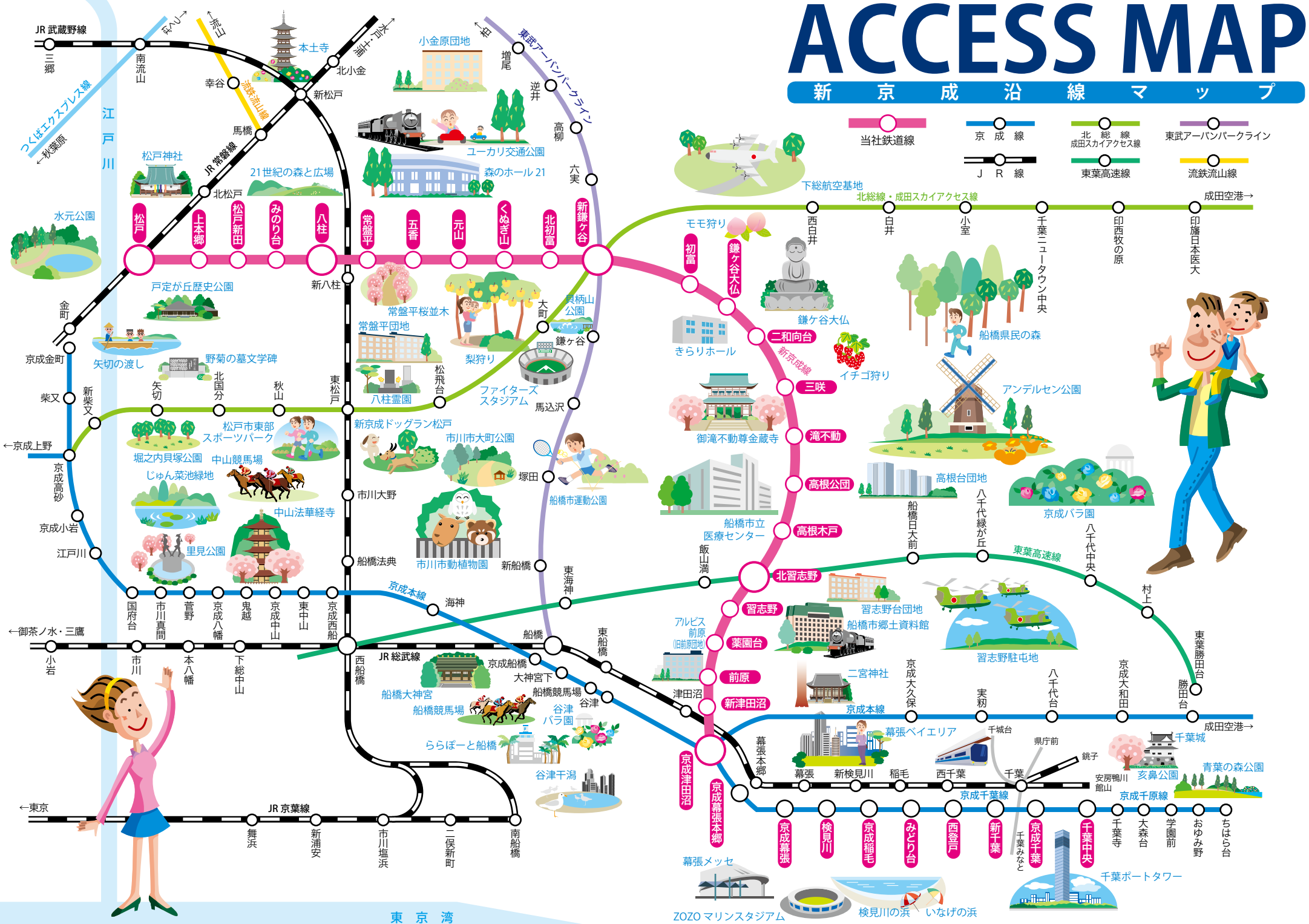
- 7.1 ふなっしーとの各種コラボレーション企画を展開
- 9.4 船橋新京成バス(株)旧ボディカラー車両「赤バス」営業運転終了 ※松戸車両もすでに終了
- 9.30 車輪転削盤更新工事を実施
- 10.1 昭和第三ビル取得  
単元株式数を1,000株から100株に変更株式を5株につき1株の割合で併合
- 10.21 鎌ヶ谷市内連続立体交差事業  
鎌ヶ谷大仏〜くぬぎ山駅間下り線高架化
- 12.16 松戸新京成バス(株)松戸市立総合医療センターの開院に伴う松高線延伸(院内乗り入れ)
- 12.18 新京成公式Twitterの開設
- 12.26 70周年記念コンサート「ドリームこどもフェス」開催

## 2018(平成30)年

- 3.5 三矢小台建物竣工
- 3.7 「新京成お笑い寄席」を初開催
- 3.31 車両基地車庫連動装置導入
- 4.27 船橋新京成バス(株)バス停ナンバリング導入
- 4.28 企画乗車券「新京成線発成田開運きっぷ」発売
- 5.10 スタシオン・セルビス(株)を新京成リテーリングネット(株)に変更

# ACCESS MAP

## 新京成沿線マップ



東京湾

ZOZO マリンスタジアム 検見川の浜 いなげの浜